

ホ 2  
4803  
3



木2  
4803  
3

冊三  
號五  
函三

奈萬之奈下卷

上來辨論セル

ル如ク撥ル韻ノ文字ト

有  
三

る

又らりる並ろニ通ジナドセル字ト

トサテきみむめもニ轉用セル字トノ差アル

不明ナレハ漢字ニ就テ其音ノカナヲ附シニモ

必漫ニセス母ニ意ヲ用ヅハ男ハ必(ナム)信ハ唯

トヤウニ別ズハアル可ラズ但シ若ク論ム

ルヲ聞テバ詩ヨク賦ル輩ナドハ侵鹽覃凡ニ屬

セルヲ除テ餘ハ皆(シ)トダニ意得ナハヤガテ

如何ゾヤ覺ユルヲモ無ルヘケレド、幼學ノ輩ノ  
 爲ニハ、各字ヲ故ラニ出シ置ンモ、ムゲニ益ナク  
 シモアラジ歟ト、己ガ魯鈍ニ比ヘテ猶思フ所シ  
 アレハ、心有ン人ノ可笑ク思、嘲ランハ顧リモ視  
 ステ、此ゾ其ゾト、今爰ニサル文字モ、出シ置シ  
 トス、ソレニ就テ意ウベキ事ヲ条々ニイハン、是  
 モ識者ノ爲ニハ、要ニ用ナキ贅言モナレド、ナホ  
 初學ノ爲ニト勤メ、且ハ自ラ廢忘ニ備ントテゾ、  
 一撥ル韻ノ字ヲ盡クトテハ、夥シテ舉ルニ勝ザ

レハ今唯日用ニシバ、後ルヲノミ舉ン、餘ハ  
 上ノ所論ニヨリ、廣ク韻書ニ考テ知ヘキ也、  
 一韻鏡卅三轉ノ圖面ニ从テイハ、第十七轉ヨ  
 リ第廿四轉ニ至ルハ轉ニ見レタル字、及ソレガ  
 同窠ナル諸字ハ、三ナ其韻ノナナニトスヘキ也、  
 又第卅八、卅九、卅卅一ノ四轉ニ収レル字ハ、圖面  
 ナル、又ソレト同音ノ諸ノ字悉ク(ム)也、  
 一 同音或ハ同窠ノ諸字云フヲバ、餘リニクダク  
 ダシケレド、童蒙ノ爲ニ猶云、譬ヘハ第十七轉

唇音清行第三等ニ彬字アリサテ諸ノ韻書モラ  
 ミレハ直ニ知ル、如ク此彬ト其音韻全ク同キ  
 字モ此レ彼レアリノハ皆彬字ニ定位ニ在ナレ  
 ハ之ヲ同音伝ヒ同窠ノ字モ云譬ヘハ古今韻  
 會ヲ披ケハ則チ彬ト同反切ノ字五アリ彬ハ霽  
 幽影コレニ又此彬ト同音同行ノ第四等ニ賓ノ  
 字アリソガ同窠ナル字ヲ韻會ニテミレハ濱賓  
 アリ又コノ濱ニ通用セル字モアリ瀕颯賓滂頻  
 コレハ斷ルハ假名悉ク(ヒン)ナルヲ知ヘシ

古今韻會ハ元ノ世ノ書ナレハ此ニ出スニ良  
 ハレカラズト各ル人アラシソハ實ニ理ヲ正  
 ト謂フヘシ然レモ玉篇ハ字少ク廣韻集韻ヲト  
 ハ普ク世ニ流行セ又ガ故ニマ前ク無相子ノ磨  
 光韻鏡ヲアラハシテノ論正ヲ律スル正ク唐  
 朝ノ音ニヨルト聞エタレト彼字庫ヲ製スルニ  
 至テハ全ラ韻會ニ依レリソモ唐已後ノ音ハ訛  
 舛多カルト先達ノ論說モ謂レタルトトハ思ヘ  
 ト今(シ)(ム)ヲ別チテ其字モ収セル所ヲ舉ル

ハ此ニヨレバトテ過チノミモセザラント。ツ  
無相子ニ働ヒモシ。又世ニ遍キ書ナレハ優リ互  
キ方モアラントテ。

一前ニ云ル彬字ト同音ノ字モノ中ニ彬ハ近ク  
論語ニ文質彬々ト云ルナドニテ誰モ多ク覺エ  
ラリ。豳ハ詩ノ豳風ト云ルニテ大略覺エ居ル  
ナレモ彰字ナドハラサ、用ルナクテ遠  
出シ。又賓ト同音字ノ中ニ儻ラハ略シテ濱ラ出

ス。ルハ儻ハ恆ニ用ナク濱ハ日用ニ係ルガ故  
也。各轉ノ諸字皆斯ノ如クニ。常ニ所用アル  
ニ出ス。但シ斯云ラ笑テ汝ガヤ子所用ニハ非リ  
ゲニ云字モ皆恆ニ所用アルヤ伝人ヲラ  
メ。サバカリノ人ハ素ヨリ彼十六攝ニテ分レ  
アルヲ知ヘシ伝ヒ。記紀万等ニカメぬれのらり  
るれろニ轉ルト。まみむめもニ轉レルト。其定  
リト云ラダニキカハヤガテ韻書ニツキ或ハ己  
ト分チモ知ヘキナレハサル人ノ爲ニハ今日用

ノ也トテ出ス分リモ用ナキナレバ、テシテ諸有  
 ル字ヲ擧テ何ニカハセン。返々モ今ハ唯幼學ノ  
 爲ヒシ。又イハユル備忘ニトテ。

一日用ノ字ヲ列子擧ルヤウ。其ノリ二百六韻ノ  
 次ニモ依ラス。卅六字母ノ序ニモヨラス。テ只  
 其字音ヲ五十音ノ次第ニ因テ出シ、ハ清ト濁  
 トヲ並べ、各字ノ韻ノ ㊿ト ㊿トヲ識リ易ラシメ、  
 一トス。サテ音ノツイデノ様ハ、阿行ノ ㊿ ㊿ト也行ノ ㊿  
 ㊿ト、又阿行ノ ㊿ト和行ノ ㊿トヲモ別チ出ス也。  
 一辺ク日用ニ係ル字ヒラトハ、イヘト。 ㊿ ㊿

ニ礫字ヲ出スカ如キ。コハ通俗日用ニハサノニ  
 關ラヌ字ナレト。紀ニ ㊿ の ㊿ ㊿ 嶋ノ ㊿ のニ 填玉  
 へル字ナレハ。蒙士モ古ニ志スハ。必此假名イカ  
 ニト思フヘシト思へハ。之ヲ省ク。ラエズ。又サ  
 ラデモ韻鏡ノ圖面ニミエタルハ。大抵之ヲ擧。斯  
 ル所以アリテハ。ヤ、物遠キヤウナル字ヒラ出  
 ス。トモ間アルベシ。字々出ス。ト ㊿ ㊿ ㊿  
 一同シ字ニ漢音ト吳音トノニ。テ。聊ツ、ハ、呼  
 ノ異ルアルハ。其漢音ノ方ニテノニ出セルア

リ。庵菴菴ヲ(アム)ノ處ニ出セルハ漢音也。此字吳音ハ(オム)ナレド。然トナヘ用ルコハラサ、聞エズ。サルニ依テ此字ヲ出ス(オム)ノ處ニハ略ス。又吳音ノ方ニテ(モン)ノ處ニノ三舉ルガ如キアリ。然レモ又ラリ、ハ曾テモ用ヒザルガ如キ音ヲ舉ルモアリ。變(テ)ノ處ニ出スナド是也。コハ世ニラサ、云ハ又音ナルガ思ノ外ナルコモアル者ゾト初學ヲ起サン爲(コレフ)ハ本書ノトセザリテ(イム)又音ナドハ漢音ニテ(イシ)(イム)

ノ處ニモ吳音ニテ(オシ)(オム)ノ所ニモコレヲ出ス。然ルハ慇懃音聲ナド。漢ニテ(イシ)(イム)聲トヤウニモ又吳音ニテ(オシ)(オム)聲トヤウニモ恆ニ云テ其假名ヨイカニ物セバヨカラシ、思フコト即チ日用ナルベケレバ也。初學ノ徒大抵ハ篇傍ノ同似ナルニ依テ准知スルコト有ヘケレド。聞ノ(アム)ナルラモテ瘖モ然ルコトシカル下。其實ハ然ノ三意得ベカラサルコトアリ。譬ヘハ翁ハ(オウ)ナレモ(アウ)ナルカ如ク又同

一佳ニ从へル字ニテモ、惟ハ井、惟唯ハイナルガ  
 如シ。假字用格ニ翁フをノ唯惟  
ヲめトセルハ、ミナ誤リニ今イフ所ノ(シ)(ム)ノ二  
 ノ中ニ、隱ハ(イシ)(オシ)ニシテ、陰ハ(イム)(オム)ナル  
 ナドハ、ヨクセズハ紛レヌヘシ。古今集序ニ、お<sup>10</sup>クミ  
ト云ルヲ陰陽ノ二字  
ミト解クガ非ナルヲ知ル  
ナドモ此(シ)(ム)ヲ辨ル餘用ニサレハ篇傍或ハ似ヨレ  
 ル意ハへアルナドニ依テ、卒爾ニ定ムヘキニア  
 ラス。然ラハイトムツカシクテ、字毎ニ憶エモテ  
 ユクヘキカ匡へハ、更ニ然ラス。詮スル所ハ、臻山  
 ノ所攝ト深咸所攝トニテ、イト速ニ辨ヘラル、

一ナレハ、今ア下タノ中ヨリ略シテ其字ヲ出ス  
 ハ、亦イハユル蒙ノ爲。(イ)(イ)  
 一韻鏡開轉ノ字ト合轉ノトハ、本大ニ其別有テ、  
 カノ歸鬼ナドハ(ク井)ニシテ機紀ナドハ(キ)屯ハ  
(シ井)陳ハ(チン)ナル類ヒ、其實ハ差別スベキナ  
 レ氏、古來傳習シテ只直音ノ假名ノミツケ來ル  
 ハ、專ラソレニ从テ、今煩ク大方人ノ異ヤウ一モ  
 思フラン様ニ之ヲ分チ出スヲエズ、サルニ依  
 テハ韻鏡開轉ニ収セル字モ合轉ニ収セルモ、  
七十



開轉ナル根ト十八合轉ナル  
 見トラヒニコトセル如ク。與ニ一處ニ舉ケ置也。然  
 ルラ彼カトクトラ別ケル邊ヨリ押テ例難ス  
 ルト勿レサテ今カトセルモ他ハカトシ或ハ之ニ反  
 一屯ラ并トハヘルガ如キハ稀ニ紀ニミエタル  
 ノミニテ古來シカ口呼モセズ亦假名ツケニテ  
 然見ハレ來レルニモ非レハ右ニイヘル如ク唯  
 ソノ優習セル音ノ假名ラノミ記ルス。夕歸鬼  
 ナドハソノ假名オホククトノミツケ來リテ  
 之ヲ目スレハ則チ機紀ノキナルトハソノ差別

アルラ知レド耳セルノミニテハイテダワカラ  
 ズ又宮觀ナドノクナルハタレモ耳スル即チ  
 ニカトハイタク違ヘルヲ知ルメリ。然レド  
 モコレハタ開合ノ異ノミナルユエニカト  
カトノ差ヲ示ス次ニ直ニクトクノ別ラ  
 論スゲノツギニグラ別示スル如キハコレ  
 モ口呼ニハ異ナキニ似タレド假名ハ古來ワカ  
 ナ來レバテ夕別ニ出スナリコレニ准ゼバ鄰  
 ラリノ次ニ倫ラルト別ニシテアグベキサ

ナレド、ソハカナツケニダニ傳ハレラ子バ、是  
 等ハタ、**リン**ト標セル下ニ同<sup>ト</sup>ニ舉ル也。カノ根ト  
 尾ト同ニ  
 出スモ、此鄰ト倫ラ<sup>ニ</sup>出  
 スモ同意ニ、自餘准知セヨ。  
 一三十六字母ノ見溪ナルト曉ナルトラヒトツ  
 ニ出シ、群ナルト匣ナルトラ<sup>ニ</sup>出シオクナド  
 毛。見溪所屬ノ字ハ牙音ニテ、曉ノ所屬ハ喉音ナレハ  
 一ニハステジキニ似タリ、群ト匣トモ亦然ナレド、今ハ  
 タバソノ漢吳ニノ清濁同似ニシテ、**シ**ト**ム**トノ  
 別ラダニ顯ハセバコノ書ノ詮ハアラハル、カ  
 故也。

**ア** 安鞍按案 已上四字漢吳 二音共ニ **ア** 黥軋晏鵝鷄 此五字 **ア** 漢音也、吳

**エ** 行 漢吳音ニハ非レド、行脚ナドノトキニ用フルニ  
 音ナリ、故ニアゲテ **シ**ナルコトヲシメシ方ク

**アム** 語暗闇庵菴菴菴菴菴 唵暗菴菴 暗 十四字漢也、  
 吳ハ **オム**

猪黯 鱗 齧 四字漢也、吳ハ **エム**也、**エ**ナリ、**エ**世ニ  
 イヘリ、**エ**オムナルヘク思ハル、**エ**モアリ、

**イン** 齧駟咽迎 四字漢吳ニ 音トモ **イン** 殷慙礮隱億 五字漢也、  
 吳ハ **オシ**

**イム** 音暗瘖陰霽飲蔭瘞吽類 十字漢也、  
 吳ハ **オム**

此外同レ **イン** **イム** ナカラ **因** 字淫 字ナトハ **也** 行

ノ **イ** ノ音ノナル故ニ別ニ下ニ之ヲ出ス也。左傳十文  
 平擇音ノ如キ、フトミレハ平去ソノ声同ラ子ド、音ヲ去ノ蔭  
 ニ假借セシハ、上ハ **ヒ**ニ阿行ノ **イ**、下ハ齊ク合 **ム**ナレバニ

ウ

ナレテレニ雲運ノ類アルハ  
三ナ和行ノウナルソカシ

ウ

無韻書ニハ集韻ニ音陰ト三エタル耳ナレド正字  
但通ニ梵呪多用ウ字トアル其所用ハウナリ乃

ウ

チ三内ノ別ヲ示スニ唇内聲ヲ呼ト示スハ  
ウト様ニモ呼習ニ執苑日涉ニ呼即爲ン字ハルハ非也

ウ

同レウモ和行ノウナルハ下ニ別ニ出ス

エ

黥軋晏鵠 四字吳也  
漢ハア

エ

軋馮蟻 十三字漢吳ニ  
音トモニ

エ

エモ也 行ノハ別ニ下ニ出ス

エ

淹闌奄愴炎醜掩 七字漢ニ吳ハ或ハ  
又吳モ亦

難レサテツイデニイフ炎字ハ和行音ニ  
ヨレル處ニモト出スナリ考フベシ

オ

恩總饒 三字ニ  
音同シ 殷愍破隱僊 五字吳也  
漢ハイ

オ

音暗瘖陰叫飲蔭 七字吳ニ  
漢ハイ

オ

淹奄愴炎 吳也漢ハ  
メレド今ハ

カ

間簡艱簡束澗澗靨擊齧義 十二字漢ニ  
吳ハケ

カ

諫駢 此四字モ漢  
ハ大カタ吳音ヲモ

カ

間簡艱簡束澗澗靨擊齧義 十二字漢ニ  
吳ハケ

カ

間簡艱簡束澗澗靨擊齧義 十二字漢ニ  
吳ハケ

ノ音ニカ、ル類諸字ニ夥ケレド今書ニハスベテサルヲ  
云ヘキニ非ス、ルモ令聊此ノ一字ニ付テ判リ置ハ  
標シタル下ニテ同一ノ字ヲ再ヒ煩ク載ルハ如何ト初学必  
訝シテ思ヘハ、自餘准知ソモ其義ノ差別 干竿肝戕  
ノクハヒキ、ハ韻書字書ニ就テ学フヘキナリ

乾筭稗蘇肝沔榦榦杆看棗刊俶衿項馱罕漢廿二字

音トモ寒韓犴旱悍翰瀚汗旱捍杆十一字漢

カム 弇感細龕堪坎勘哈顧甘柑昔敢韶齧柑厥闕

蚶喊鬪財廿二字漢吳ハ(カム)ナリトモイヘリ今ハ且ク韻鏡才四十

轉才一等ヲ(カ)韻トス含函頷撼憾玲哈荅酣邯慙十一

呉ハ緘儼減鹵鵠尿歛噉喊監鑑柑厥闕徹徹十六

ハ(ケム)或ハ吳咸鹹函岫謙陷埒白銜檻濫槩覽十三

モ(カム)之モ云(ガム)ニテ只清濁異ナルノ三酣邯漢

ハ(ケム)但シ吳モ(ガム)ニテ只清濁異ナルノ三酣邯漢

ニ(カ)云カニカクニ韻ノカナハ(ム)ニト知ヘシ(ガム)此モ漢

論(カム)サランノ監鑑嵌三字漢也銜檻鬪三字漢吳ハ(イ)

ゴム 片ハ舌ニ吳(ケム)ノ片ハ(匱)ニ諸字ニ此類少ラス今

カン 岸二音ト眼顏鴈質四字漢吳ハ(ケン)

カム 巖岳崑漢吳(ケム)

クワン 官倌觀冠莞貫管館盥灌歡謹喚煥寬款十六字

クワン 桓完丸緩換五字漢吳ハ(クワン)亦(ワン)鰓關慣什四字漢也

環患莞宦六字漢吳(クエン)卷圈券勸四字吳也

クム 欠漢吳(コム)柑吳ハ(ゴム)但シ欠(カム)ト呼フハアレド

唇音ノ梵(フワム)ト云ヨリオシテ考ベキト云

多 頑漢吳(クワン)元阮願三字吳ナリ漢ハ(クエン)タバシ是ハ

今ハ只古書氏ニ專(クワン)凡ル其韻玩二音桓丸此ラ上(クワン)  
シナルソ丘一ラ示ス耳乞要ナレ玩同シ桓丸ノ註ノ如シ  
(クワン)頰廢齧三字漢之吳ハ(ゴム)此字モ漢(クワン)トセス(クワン)  
レ吳(ホム)トスルヨリオレテクワン)ナリトスルコトハ梵ラ(クワン)ト  
欠ラ(クワン)トスルト同意ナリ

**キ** 巾蚤撞蠅啟覺磨龜困笛斤筋謹瑾撞歛  
右漢ナリ

吳ハ(コシ)緊嘆モ(キン)僅觀窘儻箇菌箸困勤勲芹近  
漢之吳訓漢ノ一ノ轉音ナリ韻鏡カ甘轉ニアル字ナリ彼ハ  
(ゴシ)訓ウ(キン)ト云ラ概シ經磬  
漢吳音ニハ非レ氏唐音ニヨ

ア非ナリト云ヘカラス經磬リチニヤ此二字ラ氏ニヨリ  
テハ(キン)トモフモツ子ノナレ  
ハニ、ニテケテシナル一ラ示ス  
**キム** 咍漢吳金今禁襟衿錦欽領領衾  
漢也吳(コム)琴黔

禽檣檣噤噤唸  
漢之吳(ゴム)

**ギン** 銀琅閭罵垠訖斲斲听漢之吳  
(ゴシ)

**ギム** 吟峯僚漢之吳  
(ゴム)

**クン** 君駮軍糜攬薰熏勳葦曠訓馴  
已上ニ音同シ羣窘裙

郡已上ハ  
吳(クシ)

**クム** レナ

**クシ** 轄二音群郡裙窘  
吳之漢(クシ)

**クム** 此音ノ  
字ナシ

**ケン** 甄蹇蹇堅肩繭見愆騫蹇擊牽顯已上ニ音  
トモ(ケン)間

簡簡澗慳擊齷遣諫姦菅

已上十一吳  
也漢ハカシ  
健ハゴシ  
乾

虔捷鍵件賢礪弦舩峴現

已上十二字漢  
ナリ吳ハゲシ  
捷建捷騫

軒憲獻

七字漢之  
吳ハコン

兼縑兼謙歉慊僣僣

已上二音  
トモケシ  
緘鹵減鷓啟喊

監鑑嵌

九字吳之  
漢ハカム

檢檢憾險

四字漢也  
吳ハコム  
劔劔ノ處ニ辨ア

レド古來漢吳トモ  
ケムト云ナラヘリ

紺黔鈴儉

四字漢之  
吳ハコム  
嫌嫌嫌三字漢之  
吳ハケシ

眼訢顏鴈質

已上吳之  
漢ハガン

閑間嫺間限僞

六字吳之  
漢ハカン言

嘯

二字漢之  
吳ハゴン

齷彥諺讞研妍硯

七字二音  
トモゲシ

賢礪弦絃舩峴

現

七字吳也  
漢ハケン

岳巖

二字吳之  
漢ハガム

咸鹹函陷

四字吳之  
漢ハカム

齷頷嶮險嚴儼

七字漢之  
吳ハゴム

嫌ハケム

儉吳ハゴム

漢ハケム

ナレド

儉吳ハゴム漢

ド吳モゲムト呼來  
レリ誤區ヘカラス

卷圈綵券勸暄暄瑩誼誼

十一字漢也  
吳ハクシ

捲

絹翹蛸蠓眷涓眩

玄法眩

懸懸炫術權拳倦倦

十一字漢之  
吳ハクシ

絹翹蛸蠓眷涓眩

犬九字二音トモニ  
音アルコト

標下ニ至テミツヘシ

劔欠

漢之吳ハケム

劔ハ韻鏡四十一轉ニ在テ其唇音

ト云ヘルケム

トノ三恆ニヨブ故ソレニ因テ此

書ノ任タルケムノ韻ナルヲ示ス爲コハニ出置之

玄法眩炫術

八ケシ漢

幻還寰環環患莞

吳之漢

元

龜願沅阮原源愿諫 九字漢之吳ハ (クワン) 元願源原ナト同

或ハ (クワン) ト 吾ナシハ 優習シテ或ハ (クワン) トノ三

ノ三ヨベリ

(ク云) コノ音ノ字ハ 頽廢齷 コレヲ此漢音

(コン) 根跟顛良懇壘齷硯琅昆現崑鯤禪舅混緝袞

坤髡闌梱悃困昏闇婚悋 ハ八字漢吳トモ (コン) タバシ

キ字ラモ今ハタバ (コン) ト出ス ハ轉ナレバモト (クワン) ナルヘ

フ凡例ニコトワレルガ如シ 痕根很恨菟渾輝溷混焜

恩溷 漢也吳 斤筋謹謹番斬欣訢蠓熈 十字吳ハ 犍鞞

建擇言軒憶獻 ハ字吳ハ 卷 一ノ吳音ハ但シ此レハツ子

遠切トアルコレナリ龍卷ノ卷 ニハ異ナル音ナリ集韻ニ九

(コン) トヨムト云ヘカラス

(コム) 金今紵禁襟錦欵衾歌 九字吳ハ 弁感紺龕坎勘

哈顛 八字吳也 檢檢憾頽欻欻驗險 八字吳ハ

(コン) 垠倕顛 二音 勤勳芹近 四字吳ハ 種種僅饘覲 此

字ナレハ吳 (コン) 漢 (キン) ナレト此ハ二音ハ (キン) ニテ唯清濁異

アル耳ニハ云メル故上ノ四字ハ別ニ舉但僅ハ (キン) 覲ハ

(コン) ト優習シ 痕根很恨菟渾輝昆溷混恩 十二字吳

テ別ルガ如シ 吳ナリ漢ハ (ケン) 此字字書韻書ニ (コン) ノ音會テナシ然ニ

權 古來内外兩典此音ヲ用ルコト普通也豈抑無ラシ是ハ

慧琳音義ニ遠袁切ト有テ韻鏡ニ收メバ廿二轉平声群母第

三等ニ入ヘキニサハ權何ハ讀ヘルムゲノ失ニハ非ル也

因ニ云此字从木ト从手トニ合レ

タルハ後ノコトゾ本唯从木而義一

(コム) 琴禽擒擒噤吟 六字吳ハ 吟峯 吳ナリ 含函頷撼憾

玲 唅 蒼 邯 慙 十一字 吳 諷 寤 鎮 吳ハ漢

山 產 揮 刻 羸 棧 琰 醜 刪 潜 訕 擾 變 十三字 漢ナ 錢

鬢 贊 讚 餐 祭 燦 珊 繖 傘 散 鑽 纂 纒 爨 竄 酸 算 竿 二十字 漢吳ト

競 潺 齧 較 四字 漢ニ 吳ハ 山ラ サム トセリモ

キヲアリソハ煩ラ ホム ナド 別ニ 彙ヘテ 別ニ 云ベシ 山

簪 參 駮 慘 憐 諺 麩 鬻 駮 三 十字 二音トモ サム 但シ

ウヘナル 理アレト 今タ、 贊 慙 暫 三字 漢ニ 斬 蕪 臆 覽 攪

通音 優 習ニノミ 隨テ イフ 吳ハ サム 讒 澆 僂 嶢 四

醜 懺 衫 杉 纒 纒 鈿 十二字 二音トモ 同シ 一 讒 澆 僂 嶢 四

漢ナリ 吳ハ サム 占 一ノ 吳音ナ ハ サム 漢ハ サム ハ サム

ツ子ノ 漢 吳 音ニハキコエヌ音 暹 暹羅ト云フニ若

ナレド ツイテニシルシオク 暹 シ 假名ヲ付ント

思ハシニハカクノ如ク シヤム トス ハシ シヤシ ニハアラズト知ルヘシ

殘 盤 瓚 瓚 攢 吳ハ漢 サム 讒 澆 僂 蠶 歌 慙 慙 槩 暫 整 嶢 鏡 吳ハ漢 サム

臻 榛 楨 秦 籐 眞 振 甄 吟 震 軫 衫 賑 娠 津 櫛 晉 緝

摺 進 親 筓 靦 靦 靦 瞋 嗔 莘 申 呻 身 紳 神 矧 哂 呻 辛

新 薪 凶 信 佻 訊 迅 卅五字 漢 秦 盡 神 辰 晨 臣 宸 腎 蜃 慎

十字 漢ニ ○ 脣 春 二字 凡ニ 韻鏡第十八 韓ニ在テ 詩純ニ 橫

韻尺 尹 切 韻會 樞 倫 切 同書ニ 脣 八 船 倫 切 一セリ 但シ 倫

毛 原 リ ユ シ ナレ 凡 中 略ノ 省 呼 リ シ ト 呼 習 へリ 今モ 尔リ



〇ム 簪譜僭斟鍼針箴枕岑參識覷濬藝森深藻沈  
審稜醴浸侵寢沁心霖勸廿八字二音同シ 尋瀟岑泐甚湛甚

七字漢之  
吳ハ(シム)

〇ン 人仁忍刃刃五字漢之 秦盡燼榛瀘醋神辰晨臣

宸賢蜃慎十四字吳也

〇ム 任壬妊姪荏恁稔緹袞十字漢之 鯨輩尋瀟鐔甚

湛湛甚九字吳之

〇ン 諄淳惇準純稔惰春蠹蠢舜舜瞬運僞俊峻峻

雋駿遂遁躄荀詢恂洵離浚濬卅字二音同シ 鷓旬馴徇楯殉

盾順純鶉醇惇十三漢之 吳ハ(シム) 但上ニ二音同ト出ルト  
同字有八字母所屬異ニ義別アレバ之正焉

〇ム シナ

〇ン 惇惇惇潤五字漢之 省呼 鷓旬循馴巡徇

楯殉盾順純淳惇蕆醴醇蕤鶉十八字吳ナリ 漢ハ(シム)

〇ム シナ

〇ン 寸村ノ去声ナレハ (ソ)ナルト明ナレト古來(ス)ハ  
僂習ノ音之其原ク所必徵換有ゲ之猶考ヘシ正濫

鈔ニ千鈍切吳音ノ略ハルハ聞エス三音正譌ニ断シテ(ス)ハ  
トセルハ非之反ルハ粗シサテ序ニ云ニ此字万葉ニ(ス)ノ假

名トセル所アリ然ニ唯(キ) 春舜 此等モ僂習シテ  
ニノ三用夕リ反ハ失考ニ

〇ム シナ

〇ム シナ

ナシ。松漢吳音ニハ非レドモ。松江トイフ。世ニ唐但シ。松音ニ因テヨニ習ヘリ。シカルトキ若カナラ付シニハ。スムトハスヘカラズ。韻ノ諸字ノ捺ル韻ニ轉スルハ皆ナリトシルヘシ。

煎翦箋剪箭濺遷淺仙鮮獮癩線鐫詮銓筌  
 痊譔源驍絃宜選撰箋濺薦千阡蒨倩精茜先襪銑  
 跣霰鑪鸕鸕旃旆戰輝闡礎羶煽扇專劓跽刺穿川  
 舛喘釧栓六十二字ニ音用。但シ專已下十字ハ吳。今書ノ任ニアラス。山醜揮剗羸五字吳。錢踐餞賤涎綫  
 羨全泉雋旋漩璿琬還蕝前荐潏撰僎鋌單蟬善膳

鯁壇繕禪舩篋造膊卅四字漢ナリ。吳ハ。

僭僭礧詹瞻占鮑檐檐苫笈殲織尖澆籤僉儉  
 漸銛遲綫廿三字ニ音用同。但シ吳音ハ此諸字ニナ

蟾剡贍三字漢也。吳ハ。然蹠縶漢ニ。吳ハ。塤蠕暝奕蠕煖輓暝八字漢ナリ。吳ハ。

錢踐涎羨全泉雋旋前荐潏撰鋌單禪善膳繕舩端  
廿字吳ニ。漢ハ。虢棧鞞吳ニ。漢ハ。

髯蚶冉染漢也。吳ハ。蟾潛漸吳ニ。漢ハ。  
 尊樽劓焮村寸扞孫殮餐損巽遜十四字漢存。吳用同。

蹲 四字漢之

三 恆ニイハザル音ナレド韻會倉含切ト有ヨリ此字及七簪參等ノ諸字皆吳音ハ

從ヘハ上ニ(サム)ト出セル所ノ十字爰ニ奉ベケレド今ハ通例ニ非ル如キハノヤズカニカクニ(ム)ナリ(シ)ニハアラス

存 吳也漢

存 吳也漢

徿 漢之吳 獠祖窳 漢之吳 單單禪輝鄴丹直旦

怛難歎坦儻炭嘆端短斲鍛湍疇彖 廿二字漢吳トモ

也ノ義ノ片漢 斲段壇檀但祖誕蚤憚彈澶 十一字漢之

吳氏清メル也 斲斷ハ絶ユル義又決斷ノ片ノ音之抑カハル差別ハ常ニ多

ル丁ニテ即此ニ奉ル祖ナドモ両音氏スメルハ綻ブナリ吳

ナルハ祖禡ナル等ソハ其筋ノ丁ヲ示セル書ニテ知ヘ

此書ニハ都テ云ズ然レ氏此斷ハ恆ニ用フ字ニテ殊ニ此

處ハヨク濫ルニ依テ 今事ノ序ニ聊之ヲ云ニ

耽 八字漢之 耽醜慙黠探貪禱儉 吳ハ(トム)

談 六字漢之 談痰嗽淡愔澹 六字漢之吳ハ

湛 漢之吳ハ(テム)一 難攤濡暖煥糲 六字漢之

噉 四字漢之 難攤濡暖煥糲 吳ハ(ナシ)壇檀

彈但祖蚤憚彈團溥搏斲斷段 十四字吳ナ

南男誦脯 四字漢之 談嗽愔齧 五字吳

珍嶺鎮填辰獠鞞痰 八字二 陳陣塵眩 漢之吳

音同ニ 陳陣塵眩 漢之吳

漢之說中卷 丁九及次下右

漢之吳

漢之吳

漢之吳

脣 吳音一ノ優習之本音(チユン)ナレトモ中略ノ省呼ニテ(チン)ト呼來ルルハ春唇ヲ(シ)トスルト同例ニ韻鏡十八轉ニ見ハル、字ニハ此例多シ因ニ云陣ハモト際ヲ陳ト省ルニテ古ハ陳陣別ナレトモ今ハ軍陣ハ車ニ从故ニ分チ出ス

〔チム〕 礎 礎 戲 礎 琛 蹠 闕 七字ニ沈朕鴉 醜 四字漢ニ

〔チン〕 紉 漢ニ吳 陳陣 蹠 朕 四字吳ニ 漢ハ(チン)

〔チム〕 誰 推 貨 漢ニ吳ハ(チン)一 沈 麗 朕 鴉 醜 吳ニ漢ハ(チム)

〔チム〕 迤 屯 椿 偕 四字ニ 醜 螭 漢ニ吳ハ(チン)

〔チム〕 醜 幡 螭 塚 吳ニ漢ハ(チユン)

〔チム〕 上ノ(チユン)ヲ促呼セ

〔チム〕 ハコノ音トスヘシ

〔チム〕 シナ

〔チン〕 擣 十六字 田 佃 鈿 眞 顛 填 殄 電 臂 甸 殿 奠 淀 纏 踈 塵 躔

十七字漢ニ吳ハ(チン)但シ再出字ハ譬ヘハ殿最ノ殿ハ端母所屬ニ音清殿堂ノハ漢清吳濁定母所屬義亦異故ナル類也

〔チム〕 髻 佑 點 店 添 沾 忝 捺 八字ニ 霑 覘 詔 三字ニ音トモ

ハ(トム)ト

ス尚可考

〔チン〕 年 撫 現 漢也吳 獬 祖 吳ニ漢

〔チン〕 纏 塵 田 佃 殄 典 殿

〔チン〕 臀 澱 奠 電 漢 十一字吳也

〔チン〕

〔チン〕

〔チン〕

テム 鮎 鮎 念 念 粘 粘  
六字漢之吳ハ(子ム)タビシ粘  
ハ吳ハ(ノム)ナリトモイヘリ 甜 恬

簞 驛 禱 居 碑  
七字吳之 漢ハ(テム)

トシ 敦 頓 嗽 焯 睡 黥  
六字ニ 音同シ 屯 豚 臀 純 圉 遯 鈍 遁  
字ハ

漢之吳ハ(トシ)

トシ 耽 醜 堪 探 貪 儉  
六字吳之 漢ハ(タム)

トシ 屯 純 鈍  
吳之漢ハ(トシ) 磨 炳 嫩  
漢之吳ハ(トシ)トセリ

トム 覃 曇 禪 醞  
四字吳之 漢ハ(タム)

ナシ 磨 炳 嫩  
三字吳之但此諸字吳音(ノシ)ニ 難 攤 濡 暖 煥  
トモイフカニカクニ漢ハ(トシ) 八字吳之漢ハ(セシ)此諸字

漢ハ(タシ) 塽 頓 脰 煥 煥 煥 煥 煥  
漢ハ(タシ)トスルヲ非トシテ皆

子ノ音ニト三音正訛ニハ斷セレド強ニ然耳ニハアラシ  
サテ頓ト輓ノ如ハ每ニ能心ヲ用ヒズハ互ニ濫レ又ベシサ  
テ又茲ニ濫ヲ簡ヒ置キテアリ曰ク篇海ニトツ奴何切ラ  
モテ註セル字ニ於テカニ又去音懦語助トアルハフトミレ  
ハ那ニ(ナシ)ノ音モアルニ似タレド尔ラヌ懦ハ(ナシ)氏呼ベ  
ド今ハ(ナシ)ノ音ノキヲ用テ註セルナレハ那ノ去又ノ一音猶  
(ナシ)抑コノ那ニ(ナシ)ノ音ハアレド(ナシ)ノ音ハナキ  
(ナシ)ノ音ノトハ上ニ那含切音南ヲ引テ示セルカ如シ

ナム 南 誦 男 脯 姪  
五字吳之 漢ハ(タム) 冉  
吳之漢ハ(タム)彼上卷九ヨ古  
事記傳ノ説及ヒ篇海ニヨ

レバシカリ又而ラ切字トシ琰ラ韻字トシテノ考ニヨレハ  
一ツハ漢音(ゼム)ナレドソレモ古音ナホ(ナム)欽ノ考上ニイ  
ダセル 那 那 トニテ南ノ音  
ゴトシ 那 アルト上ニイヘリ

ニン 人 仁 忍 刃 認 仞  
六字吳之 漢ハ(ジン) 惇 潤 頓 閏 潤  
ハ(ジン)但シ

此諸字吳ハモト(ニン)ニサテ促呼(ヌン)ニモナラヘリ 紉  
ハ(ジン) 紉 吳之漢ハ(ジン)

メレ氏古來省呼シテ(ニン)トノ三云ナラヘリ 紉 吳之漢ハ(ジン)

メレ氏古來省呼シテ(ニン)トノ三云ナラヘリ 紉 吳之漢ハ(ジン)

メレ氏古來省呼シテ(ニン)トノ三云ナラヘリ 紉 吳之漢ハ(ジン)

メレ氏古來省呼シテ(ニン)トノ三云ナラヘリ 紉 吳之漢ハ(ジン)

メレ氏古來省呼シテ(ニン)トノ三云ナラヘリ 紉 吳之漢ハ(ジン)

任 壬 姓 荏 荏 稔 糝 吳ハ漢

シナ

シナ

嘸 難 吳ハ漢 年 撚 忍 現 趁 輓 碾 七字吳ハ漢 然 蹠 蹠

三字吳也 漢ハ

鮎 拈 鮎 滄 念 五字吳ハ漢 誦 罌 吳音ラ子ムトスル説ア

字 凡 吳音 ナム 之 凡 云 粘 吳ハ漢ハチム此字 髻 丹 染 吳ハ漢

何レニテ漢ハダム 粘 吳音 ナム 之 凡 イフ 髻 丹 染 漢ハ

トスル説モアリ 等 横 呼 ノ 例 ニ 依 テ ノン ノ 音 ア リ ト ス ル フ 用 ヲ ハ 上

ニ ナシノ處ニ挙タル 響等即コ、ニ置ヘシ

ノム 此音ノ字ハナキ軟凡覺ユ但シ冉等ヲハ一説ニヨラ

都テ含ノ横呼ニ律スレハ舌音混母ナル南脯納ヲ此音之云

へシ万十一ニクダシムルニ急南トアル意ハ借字南ハ

字ノ正音ニテ意ハ祈禱ト三凡片ハ南字ノ吳音本ノムナ

ルコト明ニ証スベキニ加之南ノ入声ハ納ナルヲ其納ニ併

音セル納ヲハ和名鈔ニ俗云能不ト註セレハ南

脯納ノ一音ハ古クノムナ凡下亦疑ベキニモ非

返 販 販 翻 幡 緋 幡 番 疲 癩 班 斑 般 版 攀 販 襪 十九字漢

煩 繁 繫 繫 樊 繫 飯 六字漢ハ 馘 般 板 牟 幹 潘 桴 桴 判 汧 十

同 二音 盤 磐 般 蟠 伴 畔 叛 七字漢ハ 然ニ煩惱ナト何レモ大

カタ<sup>(ホム)</sup>トアルハ<sup>フ</sup>ノ收スル韻令世流布ノ字書韻書ニ  
異ルカ有テナ<sup>ル</sup>ヘシ未ダ之ヲ考ヘズ可畏ノ士ノ考ラ埃  
<sup>(ハム)</sup>楚塗 漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ハム)</sup>トシ又  
<sup>(ベム)</sup>ナリトモイフ  
膝<sup>(ハム)</sup>芝<sup>(ハム)</sup>釵<sup>(ハム)</sup>汎<sup>(ハム)</sup>汎<sup>(ハム)</sup>盪<sup>(ハム)</sup> 六字漢也  
吳<sup>(ホム)</sup>

凡帆范範範犯梵<sup>(ホム)</sup> 七字漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ホム)</sup>

<sup>(ハム)</sup>搗晚輓万萬曼蔓瞞蹻蹻漫滿懣縵幔 十五字漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ハム)</sup>

盤磐般礮蟠伴畔叛 七字吳<sup>ニ</sup>漢<sup>(ハム)</sup>  
組<sup>(ハム)</sup>問<sup>(ハム)</sup> 漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ハム)</sup>

<sup>(ハム)</sup>紺<sup>(ハム)</sup>皓<sup>(ハム)</sup> 漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ハム)</sup>

<sup>(ヒム)</sup>彬<sup>(ヒム)</sup>邇<sup>(ヒム)</sup>賓<sup>(ヒム)</sup>濱<sup>(ヒム)</sup>贖<sup>(ヒム)</sup>儼<sup>(ヒム)</sup>殯<sup>(ヒム)</sup>鬢<sup>(ヒム)</sup>矜<sup>(ヒム)</sup>績<sup>(ヒム)</sup>硃<sup>(ヒム)</sup>泉<sup>(ヒム)</sup> 十二字漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ホム)</sup>  
吳<sup>(ヒム)</sup>同<sup>(ヒム)</sup>貧<sup>(ヒム)</sup>頻<sup>(ヒム)</sup>蘋<sup>(ヒム)</sup>

噤<sup>(ヒム)</sup>擗<sup>(ヒム)</sup>嬾<sup>(ヒム)</sup>牝<sup>(ヒム)</sup> 七字漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ホム)</sup>

<sup>(ヒム)</sup>稟<sup>(ヒム)</sup>品<sup>(ヒム)</sup> 漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ホム)</sup>

<sup>(ヒム)</sup>珉<sup>(ヒム)</sup>岷<sup>(ヒム)</sup>旻<sup>(ヒム)</sup>旻<sup>(ヒム)</sup>罔<sup>(ヒム)</sup>縉<sup>(ヒム)</sup>閏<sup>(ヒム)</sup>愍<sup>(ヒム)</sup>閔<sup>(ヒム)</sup>敏<sup>(ヒム)</sup>憫<sup>(ヒム)</sup>民<sup>(ヒム)</sup>泯<sup>(ヒム)</sup> 十二字漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ホム)</sup>  
貧<sup>(ヒム)</sup>頻<sup>(ヒム)</sup>

擗<sup>(ヒム)</sup>嬾<sup>(ヒム)</sup>牝<sup>(ヒム)</sup> 五字吳<sup>ニ</sup>漢<sup>(ホム)</sup>  
此字<sup>(ヒム)</sup>ハ<sup>(ヒム)</sup>正<sup>(ヒム)</sup>ニ<sup>(ヒム)</sup>ハ<sup>(ヒム)</sup>非<sup>(ヒム)</sup>レ<sup>(ヒム)</sup>ド<sup>(ヒム)</sup>優<sup>(ヒム)</sup>互<sup>(ヒム)</sup>ナ<sup>(ヒム)</sup>ド  
云<sup>(ヒム)</sup>ル<sup>(ヒム)</sup>「<sup>(ヒム)</sup>ア<sup>(ヒム)</sup>レ<sup>(ヒム)</sup>ハ<sup>(ヒム)</sup>」  
ナ<sup>(ヒム)</sup>ル<sup>(ヒム)</sup>「<sup>(ヒム)</sup>ヲ<sup>(ヒム)</sup>知<sup>(ヒム)</sup>ラ<sup>(ヒム)</sup>セ<sup>(ヒム)</sup>ニ<sup>(ヒム)</sup>ト

チ<sup>(ヒム)</sup>ツ<sup>(ヒム)</sup>イ<sup>(ヒム)</sup>デ<sup>(ヒム)</sup>ニ  
挙<sup>(ヒム)</sup>オ<sup>(ヒム)</sup>ク<sup>(ヒム)</sup>ナ<sup>(ヒム)</sup>リ

<sup>(ヒム)</sup>シ<sup>(ヒム)</sup>ナ<sup>(ヒム)</sup>

<sup>(フ)</sup>分<sup>(フ)</sup>粉<sup>(フ)</sup>糞<sup>(フ)</sup>漢<sup>(フ)</sup>奮<sup>(フ)</sup>債<sup>(フ)</sup>奔<sup>(フ)</sup>芬<sup>(フ)</sup>紛<sup>(フ)</sup>氛<sup>(フ)</sup>憤<sup>(フ)</sup>忿<sup>(フ)</sup>溢<sup>(フ)</sup> 十三字  
二音同 汾<sup>(フ)</sup>墳

賁<sup>(フ)</sup>分<sup>(フ)</sup>憤<sup>(フ)</sup> 五字漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ホム)</sup>  
分<sup>(フ)</sup>ハ<sup>(フ)</sup>一<sup>(フ)</sup>明<sup>(フ)</sup>ノ<sup>(フ)</sup>一<sup>(フ)</sup>ハ<sup>(フ)</sup>二<sup>(フ)</sup>音<sup>(フ)</sup>凡<sup>(フ)</sup>清<sup>(フ)</sup>分<sup>(フ)</sup>限<sup>(フ)</sup>  
ナ<sup>(フ)</sup>ド<sup>(フ)</sup>ノ<sup>(フ)</sup>一<sup>(フ)</sup>ハ<sup>(フ)</sup>吳<sup>(ホム)</sup>濁<sup>(フ)</sup>也<sup>(フ)</sup>分<sup>(フ)</sup>齊<sup>(フ)</sup>分<sup>(フ)</sup>明<sup>(フ)</sup>呼<sup>(フ)</sup>「<sup>(フ)</sup>正<sup>(フ)</sup>ク<sup>(フ)</sup>別<sup>(フ)</sup>レ<sup>(フ)</sup>タ<sup>(フ)</sup>リ

<sup>(フ)</sup>シ<sup>(フ)</sup>ナ<sup>(フ)</sup>

<sup>(フ)</sup>汾<sup>(フ)</sup>墳<sup>(フ)</sup>憤<sup>(フ)</sup>坊<sup>(フ)</sup>扮<sup>(フ)</sup>斝<sup>(フ)</sup>漬<sup>(フ)</sup>忿<sup>(フ)</sup>分<sup>(フ)</sup> 九字吳<sup>ニ</sup>漢<sup>(ホム)</sup>  
文<sup>(フ)</sup>紋<sup>(フ)</sup>雯<sup>(フ)</sup>蠱<sup>(フ)</sup>聞<sup>(フ)</sup>吻<sup>(フ)</sup>

胎<sup>(フ)</sup>刎<sup>(フ)</sup>問<sup>(フ)</sup>汶<sup>(フ)</sup>紊<sup>(フ)</sup>統<sup>(フ)</sup>免<sup>(フ)</sup> 十三字漢<sup>ニ</sup>吳<sup>(ホム)</sup>

フム

ヘン

編徧片變

訛ニ断シテ

ナリ

ヘム

ヘン

絲面徧眠

ベム

シナ

編盼 ハ 吳ナリ漢

反返 ニ字一ノ漢音ナルヲ万下夕和名ニペニ用ヒタレバシルシ三音正

蕃翻販 五字漢ナリ

ナ并弁昇開 イヒ亦ハ

破賊窳 漢吳ハ

樛優辯辨變踡縵胼駢蟻編辯扁編 十五字漢

絲面徧眠眊瞑泯緬洎汚殒 十二字漢ナリ

交 漢ハ

○男信下

○廿二

ホシ

ホム

ホム

ホシ

ハム

ホム

ト口呼レ

名ニセ

ソノ餘

奔賣本歎噴掬 六字漢吳

販翻飜幡繙旛拏痲媿 十四字吳ナリ漢

稟品 吳ハ

盆犢盆 三字吳ハ

煩樊飯 三字吳ハ

凡帆颯汜盪颯范莖范範軹犯梵 十三字吳ハ

構晚万萬曼蔓輓 吳ハ

購躡構曼饒縵縵漫滿懣幔謾漫 十三字

盆空 漢ハ

蕃反返阪販

煩樊飯 三字吳ハ

煩ノ字別考アルヘキ

門懣悶 三字漢ハ

萬ハ古書ドモ

萬ハ古書ドモ

萬ハ古書ドモ

萬ハ古書ドモ

萬ハ古書ドモ

萬ハ古書ドモ

萬ハ古書ドモ

萬ハ古書ドモ



字吳ナリ 變鸞 三字吳之

菱 吳之但此字吳(メム)ナリ氏イフメリ漢ハ(ハム) 姘 姘 餽 餽 菱 五字吳之漢ハ(ハム)但此

此字吳ハ(モム)ナリトモイフ

珉 璠 磬 砮 玫 岷 旻 旻 罍 緝 緝 閏 愍 閏 潤 敏 憫 惜

民 泯 脗 二十一字吳 眠 諺ニナレド俗習久シクコノカナイ

ニアグコノ字正音ハ吳(メシ)漢(ベン) (ミン)ハ正キニアラズトシルベシ

三ム シナ

ムシ 但シ文吻問等ノ字モハ本(ムシ)故ニ釋迦文釋迦

其故ニ改メクニ方ニ从テ文問ナド皆(モシ)ノ処ニ出ス木

ムム シナ

絲 綿 緝 面 倂 緬 洵 酏 沔 眠 眇 眇 麵 眇 瞋 十六字 吳ナリ

漢ハ 俎 藺 吳之漢(ハン)

メム 變ム 吳之漢(ベム)

門 捫 璠 滿 悶 五字吳也 漢ハ(ホン) 文 紋 聞 蟲 吻 脗 技 刳 問 汶

十一字吳之 構 晚 万 萬 曼 五字(テン)ノ音ノ三傳習ハレ

等ノ横呼ニ明ニ自然ソノ音ノカナイカニ

トイハハ 吳音(モン)ハヘケレハ今出シ置ニ

モム 上ニ(テム)ノトコロニアゲタル字氏コ、

ヤン シナ ノ音ニトモイフヘシツノ餘ハ他字ナシ

ヤム

ナシ但シ鹽琰艶等カミニ(エム)ノトコロニ出セハ評  
字ノ中ニ此音カトオホシキモアレドソハナホ轉用  
ニテ止屋ヲ鹽治ト書ルモ卷向ラ卷目ト書ル類カ又思三益

イム

因姻湮裡茵氤陘印夤寅蟪引醋胤演韻 十六字  
二音氏

ニ(イシ)此中韻ハ玉篇ノ反切ニ依テ古來(イシ)トオホシケ  
レド諸ノ字書氏韻書氏ニラサハ三エ又音ナルヲ磨光韻

鏡ニ第十七轉ニ之ヲ填メタルゾヨキ今之ニ从フ但シ喻ノ  
才三等ニアレバ阿行ノ(イ)ナル欵氏思ハルレト本合轉所屬

ノ字ナル故ニ之ヲ猶其処ニ聊カニテモ近キニ約シ也行  
ノ(イ)トス抑カハルノ今書ノ主ル論ニアラ子ト此ハ此

学道ノ至要ナル 蝟勻尹允 此四字ノ合轉ニ在ルヤ韻鏡  
ユエ且之ヲ云也 蝟勻尹允 此四字ノ合轉ニ在ルヤ韻鏡

侍座ヲ敷尹ト書シ例ヲ副彼假字用格ニ引ル觀ハシ  
大田全齋ノ考定セル如ク韻鏡四十八轉ニ涉テ影喻ニ母ノ

才四等ハ皆也行定位ニ故ニ此ニ由ル則十八合轉ニ在レ氏此  
四字(イシ)尹(井シ)ノ音ハ又別ニ喻才三等ニ居ル氏ノ一音

ハ才四等ノ喻母ニ屬シテ也行ノ(イシ)ナルヲ出スサテ尹  
(イシ)トスルニモ二音アルガ如シ其故ハ韻鏡十八轉ニテハ

合轉ナガラノ(イシ)ニテ此ハ韻會庚準切ノ音ニ然ニ玉篇ニ  
以忍切トアルニ依ハ正ク才十七開轉所屬トシテ蓋モナク

(イシ)ニテ即チ引字ニ併音スベキニ假名ヲハ(井シ)トノ三覺  
エタラシハ宜カ淵 此モ漢吳氏(イシ)ニ集韻ニ一均切音蝟

ラシ熟辨フベシ淵 トアル之ニ因テ磨光廿八轉影母ノ才  
四等ニ填タル可也此ハ(エシ)ノ音ノ片トハ全ラ別音ニ義ハ

氏ニ深也トアレ氏音ハ漢吳氏(エシ)ト漢吳氏(イシ)トナル  
ニ三密抄下ニ漢(エシ)吳(イシ)トセルハ粗シ釈義淵(イシ)ト味

習ハ此蝟ト同キ音ニヨレル名ト聞エタリ又此字咽ト同音  
トナルトアレ氏鼓ノ声ヲ淵々咽々反氏ハ淵ハ(エシ)

咽ハ(イシ)ト聞ユ字典所引ノ六書故ニ憑テ知ヘシ  
イム 悟淫靈姪蟬潭 六字漢吳氏(イシ)但シ吳(ヨム)之氏云

ノ通音ニ从テ云サテ蝟ノ字假名彼口遊ニ類屬等ノニハ異  
テ(ム)トセルヨリ觀レハ冊ノ蠹害セル処亦(ム)ナルト考ベシ

ハ才四等ノ令書ニハ下(井シ)ノ所ニモ之ヲ奉ソレハ其ニテ令

ハ才四等ノ令書ニハ下(井シ)ノ所ニモ之ヲ奉ソレハ其ニテ令

ハ才四等ノ令書ニハ下(井シ)ノ所ニモ之ヲ奉ソレハ其ニテ令

ハ才四等ノ令書ニハ下(井シ)ノ所ニモ之ヲ奉ソレハ其ニテ令

ハ才四等ノ令書ニハ下(井シ)ノ所ニモ之ヲ奉ソレハ其ニテ令

ハ才四等ノ令書ニハ下(井シ)ノ所ニモ之ヲ奉ソレハ其ニテ令



亂十四字漢 孿三字吳之漢ハ 孿劣ニ併音シテ埒アリ吳 孿コノ字ドモノ入声

ノ平上去ノ  
ラシ知ヘシ

ラム 婪嵐壞額藍籃檻覽攬攬濫纜十二字漢吳同但シ

ヨレバ吳ハ(ロム)ニヒ云ベ 臉醜鑑此三字モニ音同トシ

ケレド今ハ只通例ニテ云 又吳ハ(レム)ニヒ云リ

リン 鄰麟鱗麟遴遴蘭吝恪略十一字ニ音 倫淪輪

綸倫輪淪七字亦ニ音同シ但シ吳ハ原 呼ニヨレハ吳(ロム)ナルヘキガ如

ルム 林淋霖廩凜凜臨七字ニ音同シ但シ 呼ニヨレハ吳(ロム)ナルヘキガ如

クナレドイニシヘヨリ 呼ニヨレハ吳(ロム)ナルヘキガ如

ルン シナ

ルム シナ

レン 爛漣漣三字吳也 連連聯輦璉璉蓮憐練煉棟

棟十三字ニ 孿三字漢 孿吳ハ 孿吳ハ

レム 鬚簾濂濂四字漢 廉簾錄匱檢斂濂殮此八字モ

但シ炎ヲ(オム)トスルハ其横呼ニテ吳音(ロム)

ナリトモイフベケレド古來吳音モ(レム)トセリ

ロン 論崙掄輪倫六字漢吳トモニ 此中論倫ナト

ギョト云ナドハイミシキヒガ一ニ混同セザレコレモ今書ノ

主トスル(ニ)ニアツカルフニハアラザレド例ノヨキツイ

デナレバ亂世ニ胡乱ラウロンニヨビ來レリ(ロシ)ノ音ノ

イサハカ亂ハイアダ考ヘズトイヘドモイヅレニアレソノ

トナヘノトキ。(ロシ)ニシテ(ロム)ニハ  
アラズトシルヘキ爲ニアゲオクニ。

ロム 婪嵐等上ニ(ラム)ノ處ニ此音凡云ベシ。  
アゲタル諸字

ワシ 剋腕盃腕腕擊六字ニ娛鬱灣縮此四字モ二音  
音同シ。(ワシ)ト呼リ。

サレドコハ還ニ横丸匣母(ワシ)植完オハ皆(ワシ)凡呼フヘキ  
呼シテ吳(エン)凡云。中ニ丸ハ正ク万右ニ和ニ用ヘリ。

ワム  
シナ

井シ 贊筠尹緝筠齋殞實慎隕湏緝十二字漢吳凡(井シ)  
ノ音凡ナレリ。尹ハ(イン)ノ音ノキト今トラ混ゼヌヤウニス

ラ歌セルナドハ今ノ音ニテニ然リ。雲云耘運一ノ漢音ニ  
トテ又(イン)ノ音ナキ字云可ラス。員數員外郎院家ナ

媛媛援院一ノ吳音ナリ。漢ハ(エン)員數員外郎院家ナ  
ドノ(井シ)謬ニ非和名鈔ニ員ヲ爲奈凡アリ。

井ム  
シナ

ウシ 焜蘊氳憚蘊愠醞焜雲云芸耘耘運暈二音  
トモ

ルナレド。テ夕省呼シテ(井シ)レモナラヘルコトニ。知ルヘシ。

ウム  
シナ

阿行ノ(ウシ)(ウム)ノ字ドモハ上ニ別ニ出セリ。

エン 鴛宛鵲婉窈窕苑琬琰苑怨袁轅猿園垣媛媛

遠十九字漢ナ娛娟娟員隕圓媛媛媛媛院十一字漢ニ  
リ。吳ハ(ウシ)。

シ。或ハ(エン)トシヌ(ワシ)  
ナルヘシトモイヘリ。

エム 俺漢炎磨光ニ填メタル如ク爰ノ音ニテ吳ハ(エム)  
也。四十一合轉ニアレバトモイフヘシ。集韻

ノ干凡切ニ从ヘハ然リ。(エム)ト  
スルヲモ非ナリト云ヘカラス。 椽 説炎  
ニ同

温 温 穩 僂 搵 饑 六字漢  
吳モ同 駕 寬 婉 苑 苑 怨 袁 園 涓

遠 十字吳之  
漢ハ(エン)

ラム 俺 炎 辨上(エム)ノ處ニア  
也 椽モ准知スベシ

從上ノ所舉ニ準シテ總ヘテ世ニハ又ル韻トイ

ヒ習ヘル字凡ノ(シ)ムラ辨フベシ。 希々互ニ背ケリ

アラバソハ別ニ故アリヤト尋子モテ行ベシ。櫻ナドノ狂リ  
花トカ秋立テ復咲ガアレバトテ櫻ハ春花ト定メ炬シ云ベ  
キカハ將門記ニ鋸鷓飲ナドノ韻ニハ(ム)ラ施シ。烟 煙 友 等ニ  
ハ(シ)ラ附セル差凡ソ明ナル中。獨朕字ニ(キ)ムトアルノ三八  
如何ゾヤ覺ル如キ。是ラハカノ正身ノ三ノ別ニ由アル義上  
ニ論セシ屬ニサハ固別ニ研精スヘキ。必鹿論スルヲ勿レ

右(シ)韻ノ字凡ハ韻鏡ニテハ臻山攝ノ字凡ナル

ラ。此ハ上<sup>上卷</sup>ニ粗云ル如ク。皆其入聲必シモ漢音

ハ(イ)ツ(シ)ツトヤウニイヒ。吳音ハ(イ)チ(シ)チト様

ニ云字凡也。あヌぬねのらりるれろたちつ 譬ヘハ信

ハ第十七轉齒音去聲心母第四等ニ在ラ。其同轉

同音ノ入聲ニテ同行同等ノ悉字漢(シ)ツ(シ)チ

ナル等也。此(ツ)漢吳ノ辨別カノ地名音轉用例及同作

夏ニモイハズ。總ヘテ物語書歌集ナニクレニ考ベシ。但シ越  
ハ漢(エ)ツ(ウ)チナルニ越前越後ノ如キハ音ハ漢ニテ韻ハ  
トニヨベド。此等ハ別ニ由アルヲニテ論辨ニモアラズ。入聲  
字凡ハ迺ラさびニ用ヒ。益ヲヤギニ邑ヲいびニ奈ヲらきニ

用へル類也。然ルニ總テ漢吳凡ニ(チ)凡(ツ)凡云ベキヤウニ思  
 ヒテ越ハ吳(ヲ)ツニハ(オ)ツニナト云ンハ孟浪ト謂フヘシ  
 然レバ入聲ノ(チ)ツノ韻ナル字ノ平聲上聲去聲  
 ナルハ悉ク(シ)ニシテ(ム)ニ非ト知ヘシ。又上ニ出  
 セル(ム)韻ノ字凡ハ皆深咸ニ攝セル字ナルヲ。此  
 ハ又其入聲必シモ漢吳兩音凡ニ(フ)韻ノ字凡ニ  
 まみむめも。ちひあへ  
 凡。唇音ナルヲ考ヘヨ。亦譬ヘバ心ハ第卅八轉齒音平  
 声心母第四等ニ在。其同轉同音ノ入聲ニテ同  
 母同位ノ韻字ノ音(シ)フナル類也。サレバ入聲ノ  
 (フ)韻ナル字凡ノ平上去ナルハ皆(ム)ニシテ(シ)ナ

ラストト知ベシ。  
抑信難ナトノ字音ノカナラバ(シ)ム(ナ)ム  
 附セシハ入聲ノ悉捺ナドニ(シ)フ(ナ)フナド施シ集納ナドニ  
 (シ)ツ(ナ)トヤウニ附シタラムガ如シ其謬リ又自ラ復明ナ  
 ルニアラスヤサテ入聲(キ)クナレハ平上去ハ(ウ)ナルト此  
 (シ)ハ(チ)ツ(ム)ハ(フ)ナルトノ對ヘル(フ)ナホ下ニ至テ云ヘシ。其  
 ク(シ)ト(ム)トノ差別アル(フ)韻書ノ規トイヒ。古語  
 用字ノ矩トイヒ。甚モ正キ者ナルヲヤ。  
解經秘藏ト云ル書ニ韻  
 鏡ラバ誤多ル書ニト駁シテ七音ノ別ラナスヲ破レト  
 己ガ短綴ノ深底ニ至サル愚サノ見ユルワザニソ有ケル  
 ノモ音韻ヲ明シテ韻鏡ニ及ク書アラシ。但シ上ル代ヨリ  
 流布セルモノニ非レハ記紀万ナド書サレシ當時之ニ依憑  
 セシニ非ル(フ)ハ固ヨリ(フ)サレド其記紀万ナトノ記レサ  
 一自ラナル音韻ノ條理ノ正キト此韻鏡ノ規矩トアル(フ)凡  
 一奇シキ逆モ暗ニ合ルハ彼方モ此方モ正キ(フ)ハ  
 正キドチ。タガハ又モノヨト信ズルニイト、貴シ。サニ、丙支

二 迦テ之ヲ梵音ニ考フレバ、  
 左ノ如ク、  
 頭示セリ、  
 近クハ字記捷覽ニ空涅  
 槃三内各別、圖ト標シテ



此ノ如ク喉舌唇三内ノ空點其韻已ニ其別有  
 相濫ズ下シキ理、又彌明ナルゾ、但シ余未之  
 コ、ニ詳ニスルヲ能ハザリツルヲ鄙稿脱スル  
 ニ迫テ、適ニ直諒ノ益友ニ遇テ、其考覈ノ趣ヲ得  
 聞ツレハ、乃チ記シテ、亦同志ニ謀ントス、曰ク悉

曇字記創學鈔

果宝草ヲ起サレシカト、七上ニ止シ、  
 賢宝闕ヲ補テトニ卷トナセル其 七下

廿 云、一梵唐韻類配屬事、問如梵文者、音韻不過十  
 二、然如漢字者、五十韻頭從韻多端也、彼此相攝否  
 如何、答藏第二云、又如真旦韻詮、五十韻頭、今於天  
 竺、悉曇十六韻頭、皆悉攝盡、更無遺餘、以彼羅家攝  
 此阿々引、以彼支之微、攝此伊々引、以彼魚虞模、攝  
 此鄔々引、以彼佳齊皆移灰咍、攝此翳愛、以彼蕭宵  
 周幽候有豪、攝此汙奧、以彼東冬江鐘陽唐京爭青  
 清蒸登春臻文魂元先仙山寒琴岑覃談咸嚴添鹽、



及以諸入聲字攝此暗惡如攝韻頭從韻皆攝之文  
反音抄承澄云。

列列

麼歌戈

ㄩㄩ

支脂之微

ㄩㄩ

魚虞模

ㄩ

齊

ㄩ

佳皆灰吟

ㄩ

蕭宵尤候幽

ㄩ

肴豪

列

アウ

喉

東冬鐘江陽唐  
庚耕清青蒸

已上喉聲

アン

舌

真諄臻文欣元魂  
痕寒桓刪山先仙

已上舌聲

アム

唇

侵覃談鹽添  
或凡

已上唇聲

列

アキ

喉

屋沃燭覺藥鐸  
陌麥昔

已上喉聲

アチ

舌

質術櫛物迄月  
沒曷末黠屑薛

已上舌聲

アフ

唇

緝合盍葉帖  
洽押葉乏

已上唇聲

右劄字鈔所引ノ反音抄ハ古版本希ニ有トシ但  
 明覺信軌各反音抄アルヨシ章疏錄ニ三ニ古版本ハ何レニ  
 カ未夕其本ヲエス承澄ハ建長ノ頃阿婆縛鈔二百二十八卷  
 草セラレシ小川倩之ヲ觀ニシムノ別ハ空點三内  
 僧正ト稱セシ人也  
 喉舌ノ舌脣二音ノ差ナルヲ圖示明也此ニ由テ

案ニ暗惡ノ二字ハ通摩多終ニ居シテ空・涅槃

●ノ二點ハ空・涅槃點トハ只一切諸字ノ音韻ニ

亘ル阿阿引暗惡十二韻ノ首尾ノ四ヲ四聲ニ配スレハ

空点ハ去聲ニシテ之ヲ主ル五類聲ヲ吐聲ノ名

テ從内出外聲勢之又涅槃点ハ入聲ニシテ此ヲ

主ル遍口聲ヲ吸聲ト名テ從外入内ノ聲勢也出  
 入凡ニ舌ハ中間ニアリテ動作モ佗ニ勝レタレ  
 ハ言語ノヨクウコクエ打任セテ舌長又舌ノ劍  
 或ハ饒舌舌戰ナドモ云メリサレハ其韻ノ通ヒ  
 轉スルヲモ廣キ之然ニ今空点ノ舌音ナル韻ハ  
 正クハ又之喉音ノハウ脣音ノハム也斯テ此三  
 差アル韻ノウ又ムハ凡ニ發音ノウ又ムトハ打  
 聞所ニテモ打ッ塗ル向フ等同ラズ其ガ中ニウムノ  
 ニハ(アム)ト呼タルニ自ラ(アン)ト聞エ(アウ)ト呼

タルニ。自ラ空点ノ撥ヲタル韻ビキハテガハザル也。是合口呼ナルガ故之。開合ハ唇ノ關ル所。喻ハ唇ハ門戸ノ如シ。ウハ喉内ノ合呼。喻ハ君后ノ室ニ在カ如ク。唇門ヲ閉テモウメガル、也。故ニ設ヒ發音タリ氏。即唇門ヲ開ントスルニ遇フ時ハ。ントトキコユ。姥ウバ奪ウバフ宜ウベ諾ウベナフ馬ウマ梅ウメウメ生ウメル生ウメル在ウメル埋木ウメル埋ウメル等ノ如シ。ケルニハ此例イテダ覺エズ。サテ右ハベトモモノ五各ニ語ラ挙タルハ一ハ死字一ハ活字ニ當ル和語ニテ。イハユル躰言ト用言ト一ツ、出シツルニ况ンヤ

テウノ韻ビキナルヲマ。コレ合強ガ故歟。又ムハ重唇ノ合呼。コレ亦急ニ唇門ノ閉ル氏。其ヒバキ自ラアト聞ユ。獨リ舌内ノ又ハ自ノ合呼ナレ氏唇門ノ開閉ニ管セザル故。ア。又ト連ル音ト。ア。ント空点ノ韻ビキアル。其テガヒアリ。高塾大師意ラコ、ニ用ヒ玉ヒ。別ニ仰月ヲ加ヘタル空点ウヲ取テ。又ニカヘテ。舌音ノハ子字ノ假名ニ用ヒラレタル也。サレバンムノ別ハ。假名ノ出來ニケル時ヨリ定レリケン。モト空点ウニ別ノ音ハナシ。サレ

八明カク覺カク加賀山代温泉寺ニ住ス。今墳墓ノ悉曇大底ニ  
 アリ。土人呼テメカクシトヘリ。  
 ハ不可シ必有シ音ニ創ナ十トイヘリ。今借テ又ニ換フ  
 ルヨリ。空点ノ三内ノ假名ウ。ムトナリ漢字對  
 譯ハ盜ハ喉ハ安ハ暗ハ也也。創ナ七ト下ト社ト因ニ云ニ。是ニ准ヘ  
 思フニ。涅槃点ノ三内ハ。押ハ唇ハ過ハ舌ハ惡ハナル中。ツ  
 ノ假名ハ。梵書ノ滅点ヲ借り用ヒタルナルヘレ。  
 ツ字形ノ。古來種々ノ説アレトモ。審ハナラズ。滅点  
 ノ。モ。或ハ損滅不可得ノ。心ハ字ノ省ナル故滅滅  
 点ト名。云ヒ。又ハ。心ハ字ノ省ニシテ諍論ハ他ヲ

滅セント欲スルガ故ニ。之ヲ以字ヲ消スナド云  
 ル。何レトモ定ナル説ト聞エズ。然ルニ涅槃点ノ異  
 體ヲ。心ハトモ書テ。梵文一部ノ終ニ之ヲ置ク。創學  
 十二引心ハ覺抄ニ云。有人云。梵書中。有一部終。並  
 心ハニ形之本。此中。心ハ是。心ハ字也。心ハ是。心ハ字也。是。心ハ名。  
 界畔。所以置此二字者。一切真言。以證菩提入涅槃  
 爲至極。故表此二字。爲界畔。ト云リ。サレハ。心ハモ亦  
 涅槃点ノ異體ニシテ。遠離除遣ノ義ヲ取テ。字ヲ  
 消滅スル点ト爲ニモ有シ歟。  
創學七下五廿云一空炎點  
表示事智證疑問云空點

一炎点ニ其意如何今就疑問案之空点是成菩提義圓点是自證圓滿表示也其旨如疏第十云釈炎点是除遣義二点是急迅詞此表示也疏第十云傍有二点者皆急呼之是詞声也是除遣之義也遣諸垢是入涅槃也文同疏釈結界明重句云重稱之即是極來之義也此是急來也文准可知之云

炎点ハ二点ニ足ルト云ヘ凡若之ヲ左右ニ施サバ素ヨリ炎点ノ字或ハ隣次ノ字ニ濫ジヌベケン若之ヲ上下ニ加ヘバ或ハ本

リ空点アル者ニ遇フ時字ヲ成シ

悉曇藏第三云有云伊字旧如

或ハ下字ニ遇時

園城寺八卷次第云不迦不羅入云此文炎点二点中一布傍

字ヲ成ゼン故ニ横ニ三点

ヲ布テ而モ圓滿ヲ要セス之ヲ字ノ上方ニ加テ

滅点トセシナラシメモ涅槃点ニ十云本邦ノ俗字ヲ消滅スルニ間メラ用ルモ或ハ由アラシク古賢此滅点ヲ取テ炎点舌内ノ韻ニ借り用ヒタルゾツノ假名ナルベキ然レバ空炎ノ二点相ムカヘテ舌内ノ韻ニ二点ヲ用テシトツノ假名トセル中ニ入声ノツハ彼日本薩州ナドノ如キハ自然ノ音勢ニテ假名ノ上ニ於テ音韻ノ濫スベキ無レハ五十字母伊呂波ナドニモツノ假名ヲ用タル歟ト思ハル然レハシムノ差別空

点舌唇ノ別ヨリ起テ、ンノカナモ之ガ爲ニ用  
 ラル、者欵ト云ルハ、丹山法兄ノ談ナルヲ是恐  
 ハ音韻區別ノ淵原ニ逢者、ハキ欵、因ニ曰ニ所論  
ノ梵音ア、イウ  
エカノ短長ノ對訳ニ用タル漢字ノ一ニツキ、又一別ニ論定  
スヘキアリ、是ハ別ニ於乎輕重義一編ヲ述テ云セリ、サテ  
又ツフノ假名ノフ、慈口僧正墨蹟大悲、正安帝震翰觀王等ニツ  
ハカハト見ユ、其ツトニエタルハ、或ハハペナルヲ觀ニ、所謂  
ツフハゲニヨリ欵ノ考モ謂レタルモ、欵サテ又儒士ナ  
カラ、白石新井氏モ既ク論シテ、ハ空点仰月ノンナルヘシ  
ハレケムハ、亦識、但シ此ハ舉射他授ノ說故、今一段  
見アリト謂ヘシ、審ニト欲シテ、之ヲ方今悉曇ニ名儂ル老比丘一  
 雲阿闍梨ニ質問セシカバ、一讀セラレテ、丹山ノ

說謂タルハ則謂タリ、然レハ是ハモト創學反  
 音等ニ從テナルヲ、凡ツ六百許年來ノ著書ニハ、  
 内外諸道ハ動モスレハ屋下架屋ノ論アル也、所  
 謂創學反音等亦其弊ヲ脱レズ、又或ハ義ニ約シ  
 テ云ヘキ所攝ヲ音ニ就テ勞セル類、憾ムヘキト  
 亦多シ、抑梵文ヲ學バン者誰カ字記ニ由、サラン記  
 ハ我高野大師將來、而後禪林、宗レ叡始テ之ガ釋ヲ  
 作ル、林記ハ是也、ソノ中ニモ、又ソノ原タル字  
 記ニモ、カノ創學反音ノ說ノ如キハ未見エズ、今

八字記注釈 枝末ヲ閣テ直ニ根本ニ就テ論セシニ  
 無慮若干其  
 ハ件ノ説全ニ正的トハ取信ス可ラス但シ其説不  
 正甚キニ至レルニハ非レハ悉曇藏已下中古ノ諸  
 書ニ从テ討ヌルトキハ創學及音ノイヘル所亦  
 強ニ非斥スヘキニハアラ子ト其説ヤ健也トハ  
 謂難ケレバ偏ニ之ヲ本拠ト取シハ拙シ且梵書  
 ノ滅点ト云ル<sub>ル</sub>其証文ヲ見ズ况<sub>ヤ</sub>…点ヲ涅槃点  
 ノ異躰ト云ルモ承難シ…点ヲ横ニ…点ニ布ス  
 ルハ梵文ノ中ニ有ヘケレ<sub>レ</sub>氏横ニ…点ニ布セル

例ハ未<sub>ッ</sub>覺エズ請<sub>フ</sub>要ニ研セヨ已上老 トゾ諭示セ

ラレケル義門固ヨリ淺陋曾テ判断ニ能ハズ只  
 所聞ヲ記シテ可畏ノ士發慧ヲ期スルノミ也  
 但シ上ニ舉シ説ヲ用テ<sub>シ</sub>①②ノ別ル、原教<sub>ハ</sub>方  
 ヲリ要ニ考<sub>ル</sub>ニ其ガ流轉ノ水脈亦自<sub>ラ</sub>知ヘキコ  
 コチス是ニ由テ之ヲ思ヘハ所謂舌ハ唇喉出入  
 ノ中間ニ居シテ其轉ズル<sub>ル</sub>最廣シ其<sub>シ</sub>③本ノナ  
 二子<sub>ノ</sub>ニ轉<sub>ル</sub>理<sub>ハ</sub>固ヨリニテ又彼<sub>ラ</sub>リ<sub>ル</sub>口  
 ニ轉スルモ同シ舌音ナレバゾト彌明<sub>ル</sub>ニ實ニ

奇<sup>ク</sup>シ。サテタ<sup>ト</sup>チ<sup>ツ</sup>。ト。亦所謂舌内之伝へ氏。コハ  
 涅槃点入聲ノ主<sup>マカド</sup>ル韻ナレバ。ナベテハ轉セザル  
 ナラン。サレド偶<sup>フ</sup>チノ濁音ニ轉ズルハ。シノ韻<sup>キ</sup>ニ  
 又ト爲リ。ニヨリ刹那ニ濁音ノ重キ<sup>ツ</sup>井<sup>ニ</sup>移リ  
 井<sup>ニ</sup>ト爲リ。ニヨリ刹那ニ濁音ノ重キ<sup>ツ</sup>井<sup>ニ</sup>移リ  
 テ。チ<sup>ト</sup>轉ズルニヤト云へハ。法兄又曰ク。シノ<sup>チ</sup>  
 トナルヤ。ソモ單ニ但<sup>シ</sup>丹<sup>ト</sup>呼ブ時然ルナラジ。但<sup>シ</sup>  
 馬<sup>マ</sup>丹<sup>チ</sup>比<sup>ヒ</sup>ト連呼スルトキ。次<sup>ツキ</sup>ニ出ル音ノ<sup>ツ</sup>リ合音  
 便ニテ轉セルナメリ。ア<sup>カ</sup>マノ三行ハ喉内<sup>ハ</sup>ハ<sup>テ</sup>  
 ワノ三行ハ唇内<sup>ハ</sup>或ハカ<sup>キ</sup>ク<sup>タ</sup>チ<sup>ツ</sup>ハ涅槃点ノ

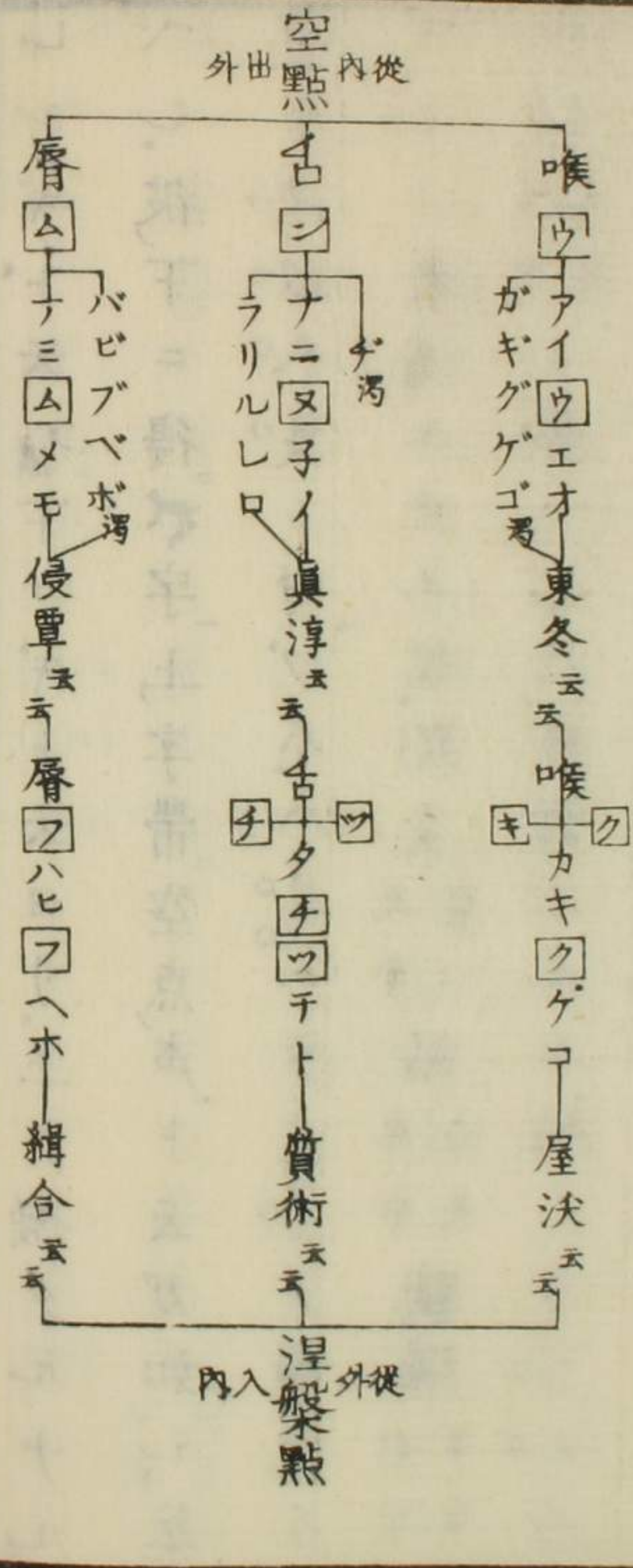
主<sup>ト</sup>ル所ナレバ。ウチ任セテハ此等ニハ轉セズ。サ  
 レド希ニ信<sup>シガ</sup>樂<sup>ラク</sup>ナド云ハ。案ズルニ。信<sup>シ</sup>ハ信<sup>シ</sup>貴<sup>キ</sup>山<sup>サン</sup>ナ  
 ド。同ク。シノ音ニ約リテ。ガハ文字ノ上ニテハ  
 添テ呼テ。シゲラクノ意ナラン。地名ハ本ヨリ有  
 テ。ソレニ文字ヲ填タルナレバ。サル<sup>ト</sup>アリ又ベ  
 シ。一ニ<sup>ラ</sup>以ウチ互シテハ論ズヘカラザル歟。將  
 ウノガ<sup>ギ</sup>グ<sup>ゴ</sup>ニ轉ゼンハ。凡ニ喉内ニテ。輕<sup>キ</sup>ウ  
 ガ重キ加行ノ濁音ニ通ズルハ。其スチタガハザ  
 ル<sup>ト</sup>。又カノ冷<sup>レイ</sup>泉<sup>ゼン</sup>ト呼<sup>フ</sup>時<sup>シ</sup>ノイ<sup>イ</sup>ニ轉ズルハ先



ニ轉ジ。ニイノ韻キノ残りテ。ニノ消タルナ  
 ラン。此ハ攝聲。飯韻創学十二  
九左云。或ハ冷泉院ノ  
 唱慣レタルガ。唯二字ナルニモ遺リタルナルベ  
 シ。院ハ安居院ノ院ノ如シ。本ヨリ井ナレド。  
ニ字ニナリテ後イニナリタルニモ有シ。ア。イ。ウ。エ。三  
 内ニ配スル時。イハ舌内ナレド。重キ舌音ノ又。輕  
 キイニ轉ズベキ理脈ナシ。又鈴磬標ナドハ。ナホ  
イイ  
 唐音ニ从ヘルニテモヤアラン。禪宗弘リテ後ハ。  
 殊ニ唐音ヲ用ルノ多シ。櫛子ナドハ。吾産土越前丹  
生郡  
 リ。ナドニテハ。普クレシ。トノミ云ヘリ。櫛木ヲ

レシギト云公下ヲギト云ヨリ。上ヲ撥タルナル  
 ベシ。彼下ニ得イ字上。字帶空点。声ト云ガ如シ。秦  
 原ヲ波以ハ。良ト呼ブハ。ハリイハラノイノ韻遺リ  
 テ。リノ音消エタル也。郡家久宇  
家。論呂宇  
之天。龍膽利宇  
多宇  
 林擒里宇  
己宇ノ類ハ。三内相通ズルガ格ニテ。ン。ムノ  
 通局ヲ云限。ニ非ル欵。又ンノ麻行ニ轉ズルハ。從  
 内出外ノ空点ナレバ。舌ノ唇ニ轉シ輕ノ重ニ移  
 ルハ。自然ノ理脈ナルベキ欵。又ムノカナ附ル撥  
 子字ノ波行ノ濁音ニ轉ズルハ。素ヨリ同シ唇内

ノ韻ニテ親キガ中ニ波行ハ輕シ云ヘビ濁ル時  
 ハ重シ重ケレバ輕ノ重ニ轉ズルハ其スチナル  
 ヘシ斯ミレハ空涅槃二点相對ヘテ音韻自然ノ  
 通局アリト知ル也今試ニ圖示シテシ



入聲チツキクヲ竝ヘ置クハコレ俱ニ涅槃點開  
 合ノ本韻ニシテ轉韻ニ非ルカ故也本韻ニニ  
 ルカ故ニ轉韻却テ局リ空點ハ本韻唯一ナルカ  
 故ニ轉韻却テ寬シ已上復又ト云リ是ニ由テ之ヲ思  
 丹山法兄フ一悉曇ノ法ル  
 者ハ所謂漢字音ノシムハ固ヨリ能意得居ヘキノ中葉リ  
 久ク其辨ナキガ未審シサヨ然ルハカノおをニ音ヲ思外  
 ニ錯置シ來レルガ今ミレバイトアマシカル由テ於乎輕重  
 義ニ云ルト同趣ニテ是等ハ皆明ニナレルヨリ顧レハ只智  
 人面前ナニトカヤ於是首ヲ回シテ考ッレハ彼漢土ノ  
 云屬ヒナランカシ  
 韻書凡ニ臻山ト深咸ト其所攝ヲ分テルハ季世  
 ノ事ナガラ其定メタル式ニシモ其太古ヨリ固

有シテ撥ル韻ヲ帯ヘルニ填タル諸文字モノ分  
 明ニ符ヒテ正ク㊦㊧ノ別アルハ彼邦自然ノ音  
 律ノ然ル也サテ御國ノ古書モロヽヽニ異邦ノ  
 字ヲ借り用ヘルニ現ニかゝぬぬのらりるれろ  
 ニ轉ゼルトトミミムメもニ轉ゼルトノ差別ノア  
 ルハ本來自然ノ音韻雅正ナルガ故ニテ是即彼  
 梵音ニ喉舌唇ノ三内ノ別アルニ符合スレハ炳  
 焉トシテ三國其揆一ナルヲ妙ト稱セサルヘケ  
 シヤ然シモ三國押渡テノ音律イト正ハシカレ

バ㊦㊧通用スベシハ非也ト明ムベ  
卷ル

曇ヲ修シ韻学ヲ講スル者モコヽヲ明ニセズ又國学キ一ア  
 リテ紀記万ナドヨク讀モ得シ人スラ却リテ妄斷ス長差  
 別アルベキ由ナレトサヘイヘリシハ返々モ遺憾ナスヤ  
 但シ彼轉用例コソサハイヘドカシコキ書ニシテ此㊦ノ  
 別ヲ云助ケ日自然トシ又古キ世ニハスベテ一信ナ  
 テナルルハ亦貴ムヘシ  
 シノ字音ヲバ嘗ナ令ルナトノ語ト全モラシク  
 ㊦㊧顯ニ云ヘリシテ後ニ音便ノ譌變ニテ一シン  
 ナドモ呼フニハナレルニテモ有ヘシハ説ナ  
 ドハ從ヒ難キニ非スヤ多武峯ヲ古ヘ談峯トカケリ  
 シナドハ是即談ハ咸攝ニテ  
 入声㊦韻ナル故々然ニコレト混シテ㊦入声ノ韻ナル字  
 凡ノ平上去ノ㊦ナ㊦ナ㊦ラサヘ㊦ナ㊦ト㊦ラ定カニ

云シモノトシモ断ズ然レハ彼野ハ奈萬ニアテ信ハ  
 ルナトハ甚キ謬ナリ。之奈。填タル類。古人ハ皆天然ノ音律。自ニ口呼  
 嚴正之。故ヲ云爲ト知ベシ。但シ此(一)ト(△)トノ  
 別トテ。彼韻鏡開轉ニ出タル字ニハ(シ)合轉ノニ  
 ハ(△)ト假名セルナドハ。カノ悉曇ノ三内韻書ハ  
 ノ所攝古書ナル假名用ヒ。サテ。何レモ齟齬シ  
 テ更ニ正<sub>キ</sub>ニ的ル<sub>ナ</sub>レ。誠ヤ爰ニ能々辨へ置ベ  
 キ<sub>ナ</sub>アリ。其故ハ上來論定セルハ。唯漢字ノ音韻  
 ニ就<sub>キ</sub>テノ<sub>ナ</sub>ズ。然ル<sub>ラ</sub>此ニ泥<sub>テ</sub>蛇足<sub>ヲ</sub>書<sub>キ</sub>テ。御國

詞ノ上下テ強ニ認<sub>マ</sub>ハ。毎ニ<sub>ハ</sub>ん<sub>ハ</sub>び<sub>ラ</sub>別ントセバ。  
 却<sub>リ</sub>テ僻事<sub>ヲ</sub>ズ引出ナシ。カクイハバ人アリナ。下タ聞ム。見△ナトヲ聞。見△ト通。モ  
 書<sub>シ</sub>ハ。彼香<sub>ズ</sub>ヤ<sub>ハ</sub>ん<sub>ハ</sub>のノ謬ニ同<sub>ク</sub>。(シ)ハ本(又)ナル故ニ凡  
 云<sub>フ</sub>ン<sub>ハ</sub>然<sub>ラ</sub>ズ。今ハ(シ)ん<sub>ハ</sub>ノ其爰態<sub>シ</sub>以テ來<sub>リ</sub>所<sub>ノ</sub>本<sub>ハ</sub>トテ  
 唯<sub>レ</sub>別<sub>ニ</sub>一<sub>ノ</sub>鼻音<sub>ト</sub>ナ<sub>レ</sub>ル<sub>カ</sub>ウ<sub>ヘ</sub>ニ<sub>テ</sub>ノ<sub>コ</sub>。(シ)凡<sub>ソ</sub>御國詞ノ雅正ナルニハ。  
 本鼻音ノ(シ)ノ無<sub>リ</sub>シ者ト云<sub>ル</sub>議<sub>ハ</sub>。彼ニ<sub>ハ</sub>百考<sub>ノ</sub>  
 如<sub>ト</sub>。且<sub>ハ</sub>曰<sub>ハ</sub>ハ<sub>テ</sub>モ<sub>エ</sub>ア<sub>ラ</sub>ジ<sub>者</sub>ゾ。但シ頭昭ノ在シ。ソノカニ(シ)ノ  
 形<sub>ノ</sub>ナカリシヤウニ<sub>ハ</sub>謂<sub>ヘ</sub>ル<sub>ハ</sub>用<sub>ヒ</sub>難<sub>ク</sub>。又<sub>ハ</sub>其<sub>レ</sub>ヨ<sub>リ</sub>イト古  
 ク(シ)ノイ<sub>ア</sub>ダ<sub>見</sub>エ<sub>ザ</sub>リ<sub>シ</sub>世<sub>ト</sub>テ<sub>モ</sub>鼻<sub>ニ</sub>潤<sub>ル</sub>(シ)音<sub>タ</sub>エ<sub>テ</sub>  
 ナカリシ者<sub>ハ</sub>。凡<sub>ハ</sub>其<sub>レ</sub>ニ<sub>ハ</sub>付<sub>テ</sub>ハ<sub>此</sub>彼<sub>ナ</sub>。上田秋成。ナドノ。妨難モ起  
 全<sub>ク</sub>ハ<sub>ハ</sub>ハ<sub>レ</sub>子<sub>ト</sub>。其<sub>レ</sub>ニ<sub>ハ</sub>付<sub>テ</sub>ハ<sub>此</sub>彼<sub>ナ</sub>。上田秋成。ナドノ。妨難モ起  
 シカド。遮遣<sub>テ</sub>夕<sub>ヲ</sub>審<sub>詳</sub>ナル<sub>ナ</sub>。亦<sub>ハ</sub>本<sub>居</sub>ノ呵<sub>刈</sub>葭<sub>等</sub>

三ッヘシ先万ナトニ今いんきんナト云ん  
 ニ正字ト填タルハ將テ夕欲ナルヲ其ヲハあそ  
 ノ應トスル氏ハめト云ナレハ今㊦ト音便ニ聞  
 エルモ本ハ麻行ノ活ニテはもどのやナドノ應  
 トスル氏ハむト云ナルヘキ理ハ和語説畧因論モ  
 サラニテ即チ万十一一首ノ歌ノ中ニ㊦ニア  
 ルヲ偕ニ六ノ字シテ吾戀之事毛語名草目六君  
 之使乎待八金手六トカキ同一ニハ吾勢枯波  
 何所行良武已津物隱乃山乎今日香越等六ト一

首ノ中ニ一ハ字音良武一ハ正訓等六ト書ルハ或  
四考 於毛保寒處ト將思  
一考 將ヲ寒ノ㊦シテ書ル  
一考 ヤハ別ノ論ニテソハ何レニテ卅六人集ト觀采ヤ  
一考 セルノ古クヨリナルヲ千載集ニテモ知ラルハ其一卷十  
 六ニ武藏ヲ隱セル哥ニ志深クせむきりて尋ね  
 丁ニ足引の山乃をちよて跡を留めんトアルナト  
 ニテモ將然言んハむナルヲ明シクむつとむつと  
ひつけ 准テラ知レ  
 然ハ氏上古トテモ季世ノ全ク口フタギ居ハ  
 モ呼ルハ鼻音ノ㊦ニコソ同ラザリケメ將欲ナ  
 ドニアタルむハ流石ニ聊ハ鼻ニモ係テ云シニ

テ頭ニアリテハむくし中ニテハさむ下ニのむナトノ  
 如ク定々ト△ラ呼ベルニ少シノカハリモナキニ  
 ハ非リケラシ將曰ラハヘルニサノミ異ルトハ  
 思フヘシフモ欲將ナトニアタルカノメト活用スルハモ  
 ト鼻ヨリ出ルシト唇音ナル△トノ間ノ音ナルフソレ正ク  
 知ラスル文字ノ昔モ今モ未ダアラヌニヨリテ筆傳シ巨キ  
 ニゾアルヘキコノ間音ハハ今世ニテ批洲音ラ傳  
 ルニ齒舌音ノ字日母ニ屬ケル儒然ナドラ假ニ△シユイ  
 △トヤウニハ物スメレド實ハ△ラ濁レル△ニ非ス△ト  
 △トノ間ノ音ナレドソレ正ク写ス假名ノナケ但シむモ  
 △ハ止得ズ姑ク△ト書傳ルト同趣ナルヘシ  
 奇モ△ニ等ク今云△ニ當リハスレド既ニモイむ  
 ハ己ガ△ニモ他ノ△ニモ通シテ云ル例シルク

○ハ他ノ上ニハイハズ凡本居ノ考ゲニ精キ  
 一ト謂ヘシ上ニ玉緒ヲ引ルカ如シ但シ玉緒ニヒケル  
 趣ナトハ玉緒給ム奇モ文字ノ写誤ナラジ故トモ思ル  
 分ニクハシク云リサテ後々ハヤ、鼻ニ係ル音優ノ  
 多クモナリ又鼻ニテノ渾リノヤウ、深クモ  
 ナリモテユキテハ終ニハむ凡トハ甚ク異ナル  
 様ニナリ正クむトイヘハ却テ異様ニ聞ユル  
 ニサヘ成ニタル今モ陸奥人出羽人ノ言ヲ京ワタリ  
 ドカシコニ入テミヤコ方人ノ語ヲキ、ナンニハ其中昔  
 却テ異様ニモキ、ナシイミシキハ笑ヒズ嘲リナム  
 毛其ニアツヘキ正字ノナカリシニ因テ止得

ス。且ク無牟ノ字シテソノカミ人ノ書置ルハ。上  
 和名鈔ヲ引テ云ル如ク。比無乃世無田ナトノ無モジヨ。まび  
 いろナドノむノ如ク呼ブナランマハ。況マ活語ニサヘハ。べ  
 ンラ波牟倍里ト書ルナドハ。モシ牟ヲサダカニイフベクハ。  
 倍ハ自ラモ濁音字ハ書テジキ理ナラズヤ。コハ。ニ於テ考レ  
 ハ。三音考<sup>細字一</sup>ナル説ハ。將見ヲみむト書ク類ト。侍<sup>ル</sup>ハ。車  
 り<sup>り</sup>止而<sup>テ</sup>ヤむ<sup>ク</sup>ナドカケル類トヲワカヌニテ。要ニ从ヒ  
 難ク。シノ形ハナク<sup>ハ</sup>。シノ音<sup>ハ</sup>アリシ<sup>ト</sup>。シノ形ナキ  
 今モ追ル音ナキニ非ニ<sup>キ</sup>。タグヘ思ベケレカニカクニ  
 ノ音ヲ口傳ニセル<sup>ハ</sup>。日本<sup>ヲ</sup>シバラク<sup>ヨ</sup>フ<sup>ン</sup>トカケ  
 ト全クニアラズシテ何也。サテ其音優ノ語ハ。本ハ  
 同キニ<sup>ニ</sup>ア<sup>ラ</sup>ズ<sup>シ</sup>テ何也。サテ其音優ノ語ハ。本ハ  
 咸雅正ナラヌナガラ。シ<sup>ン</sup>人<sup>ヲ</sup>自在<sup>ニ</sup>用<sup>ハ</sup>ル<sup>ハ</sup>。今ニ在テハ。ひ  
 人のせん<sup>ト</sup>侍人<sup>ト</sup>フ<sup>リ</sup>ナド記センカタ却リテ写

ク。此ヲせむ<sup>ト</sup>ひむ<sup>の</sup>はむ<sup>フ</sup>リ<sup>ト</sup>ヤウニ書ンハ。  
 中々ニ空ラズ<sup>ハ</sup>云ヘシ<sup>テ</sup>止<sup>ミ</sup>ておもみ<sup>ル</sup>  
 そ<sup>ろ</sup>ろ<sup>ト</sup>ナトノ<sup>ン</sup>ト聞ユル<sup>ト</sup>ニナリニタル方  
 ヲ傳フトシテ。やむ<sup>テ</sup>重む<sup>ル</sup>暗む<sup>ル</sup>トヤウニ書  
 ハ。コレモ古クヨイトバ<sup>ハ</sup>宜カラズ<sup>ハ</sup>云ヘキ歎。然レ<sup>ハ</sup>猶  
 重む<sup>ル</sup>止<sup>ム</sup>てナド書ケルモムゲニ近世ノ<sup>ト</sup>ニ  
 ハ非<sup>シ</sup>ナル<sup>ハ</sup>正安帝ノ觀經大御展書ニ止<sup>ラ</sup>ヤむ<sup>テ</sup>ノ類ノ多  
 ル例ニヨラセ<sup>テ</sup>モ<sup>ト</sup>ハ。ナホ抑<sup>未</sup>也ニテ。ソレヨリ古クヨリア  
 モノトゾ見奉<sup>ラ</sup>ル<sup>ハ</sup>。ヲ案スル<sup>ニ</sup>。イ<sup>ッ</sup>レ<sup>モ</sup>彼眞字書  
 ニ。せん<sup>ト</sup>ヲ世無<sup>ト</sup>田侍人<sup>ト</sup>フ<sup>リ</sup>ヲ波牟<sup>ト</sup>倍里<sup>ト</sup>。伊勢年中  
 行事櫻官

鳥名 トカケル彙ヒニテ。  
子歌 リテノ後モにづけんナド  
トナホカクト同趣ナレハ (△)ラ唇音サダカニ云へキ  
 ニハアラテ鼻聲ノ厠リテ (シ)ト出ルナルへキ  
 カクテ此趣キトカノ曰將日ひ欲聞む將書書ナトハ  
 口語ハ正ク (△)ト呼フフ能ハズ氏書付ン文字ハ  
 びトセン乞正ク麗キ乍猶音便譌ノ儘ニ人ト書  
 ンモ強チホ斥キフテジキナルトノ差異ヲモ惟へシ  
 彼宣侍座ノ將座(井△)ラ一字假名ニナラハ(井△)音字ヲ用へキ  
 古尹字ラシモ書シ類モ(△)譌テ(シ)トナリシヲサ其務寫耳  
 之此等ニ由テ諸字ノ(シ)(△)通ト莫執ジテ彼善惡ラゼンク或ハ  
 ゼンダト様ニ假名附ル習モ無キニ非ル等ヲモ考合テ可ナラズ

サテ (シ)ノ形ハ何レノ字伝論モ旧リタルナラハ其(シ)ハ  
 上ニイヘル如ク悉曇家所用仰月ノ(シ)点伝明ナレハ人亦  
 之ノ愛ト云へキ歟但シ此ハ漢字无モラ極艱ニセル亦サル  
 形トナレリ凡數百年來ノ物ニ先ラんまれ雖ラ(シ)ト書  
 ル古筆夥ク印本ノモノニテイト近々蜻蛉日記ニ寒く燬もて  
 等ラんとんトヤウニ書ルヲ三ニ无ラ(△)毛兩音  
 ニテ(シ)ト書リハイハメド又必毛字也トハ云レザルニモ非  
 ル猶に之ノ説モ難捨歟サハ艸書ハ言シン何レモノ崩也  
 反へキ類ガ然バ(シ)ハ用フラ全ラ同カレド其形ノ由テ出  
 ル所ハ異ル者乎サバ(シ)ト書キント形セルラ今ハ其原ノ論  
 ハ閣キテカノ三三瀆瀆怨怨ナト皆音便ニ崩レタル口語ノラトテハ  
 人ト書テ有ヘシサレハコソン何ノ字ニ扱ルトナシト  
 ハ顯昭モ斯ル由モアレハ字音ノ(シ)(△)ラ精嚴ニ差  
 云タメレ別スへキニ泥泥ミテ御國言ハラ副副へ強テ分チ書  
 ントセバ動モセバ蛇ニ足ラ添ッルガ如キ僻事モ



ヤ出来ナントハ思ル、也。サレド又書別ルニハ  
 文理<sub>レ</sub>ニ明證アルヲ熟ク意得置ズハ。彼香で  
 やあらんノ如キ過<sub>ナ</sub>ニモ陷ナン。返々モ此處ヲ精  
 細ニ辨知シテ。彼<sub>レ</sub>ヲモ此<sub>レ</sub>ヲモ謬リ認ル<sub>ル</sub>勿シ。

○此書凡そ廿年修り最<sub>ニ</sub>高倉學寮<sub>ニ</sub>近頃ハ香樹院嗣  
 講<sub>ト</sub>同<sub>ク</sub>傳<sub>レ</sub>沙<sub>レ</sub>乃<sub>ニ</sub>真宗<sub>ノ</sub>偈<sub>ノ</sub>名<sub>ノ</sub>聖<sub>ノ</sub>教<sub>ノ</sub>の校合<sub>レ</sub>事<sub>ニ</sub>注<sub>ス</sub>ひを  
 きし程<sub>ニ</sub>七<sub>ノ</sub>字<sub>ヲ</sub>七<sub>ノ</sub>集<sub>レ</sub>記<sub>ノ</sub>の集<sub>レ</sub>め<sub>テ</sub>惣<sub>テ</sub>連聲<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>時<sub>ノ</sub>の口呼<sub>ハ</sub>ひ  
 分<sub>ル</sub>ち難<sub>ク</sub>なれ<sub>ト</sub>其<sub>レ</sub>字<sub>ヲ</sub>音<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>多<sub>ク</sub>其<sub>レ</sub>物<sub>ヲ</sub>以<sub>テ</sub>之<sub>ヲ</sub>。㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭  
 らぬ<sub>ニ</sub>なり<sub>ト</sub>也。信心<sup>シニシム</sup>の類<sub>ハ</sub>此<sub>レ</sub>混<sub>ハ</sub>ち<sub>ル</sub>事<sub>ニ</sub>なり<sub>ト</sub>也。必<sub>ズ</sub>其<sub>レ</sub>所以<sub>ニ</sub>あらん

と思<sub>ハ</sub>る<sub>ル</sub>心<sub>ヲ</sub>より問起<sub>シ</sub>て聊<sub>ト</sub>同<sub>ク</sub>ある<sub>ヲ</sub>を<sub>レ</sub>お<sub>シ</sub>て何<sub>レ</sub>と<sub>レ</sub>考<sub>ヘ</sub>ん  
 文化<sub>ノ</sub>の五<sub>ノ</sub>と<sub>セ</sub>ぬ<sub>ル</sub>先<sub>ニ</sub>こ<sub>ト</sub>より脱<sub>リ</sub>せ<sub>テ</sub>本<sub>ヲ</sub>を<sub>レ</sub>集<sub>メ</sub>て其<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>抄<sub>シ</sub>て  
 此<sub>レ</sub>文<sub>政</sub>七<sub>ノ</sub>集<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>他<sub>ノ</sub>事<sub>ニ</sub>も<sub>テ</sub>江戸<sub>ノ</sub>小<sub>ノ</sub>出<sub>ル</sub>事<sub>ニ</sub>思<sub>ハ</sub>外<sub>ノ</sub>の長<sub>ク</sub>な<sub>ル</sub>事<sub>ニ</sub>事<sub>ニ</sub>なる<sub>ヲ</sub>  
 う<sub>レ</sub>お<sub>シ</sub>り<sub>テ</sub>の事<sub>ニ</sub>も<sub>テ</sub>より<sub>ナ</sub>る<sub>ル</sub>全<sub>ク</sub>齋<sub>ニ</sub>太<sub>ノ</sub>田<sub>ノ</sub>方<sub>ト</sub>を<sub>レ</sub>備<sub>後</sub>藤<sub>ノ</sub>山<sub>ノ</sub>人の  
 音韻<sub>ノ</sub>の学<sub>ニ</sub>習<sub>ハ</sub>り<sub>テ</sub>遇<sub>ハ</sub>る<sub>ル</sub>固<sub>ニ</sub>て即<sub>チ</sub>又<sub>チ</sub>セ<sub>リ</sub>る<sub>ル</sub>不<sub>レ</sub>己<sub>ク</sub>考<sub>ヘ</sub>る<sub>ル</sub>題<sub>ト</sub>  
 大旨<sub>ニ</sub>暗<sub>ク</sub>し<sub>テ</sub>抄<sub>シ</sub>つ<sub>テ</sub>其<sub>レ</sub>目<sub>ニ</sub>撰<sub>レ</sub>の漢<sub>音</sub>音<sub>圖</sub>並<sub>ニ</sub>音<sub>圖</sub>を<sub>レ</sub>裁<sub>ツ</sub>て<sub>レ</sub>お<sub>シ</sub>る<sub>ヲ</sub>  
 を<sub>レ</sub>示<sub>シ</sub>り<sub>テ</sub>其<sub>レ</sub>鏡<sub>ヲ</sub>を<sub>レ</sub>持<sub>ツ</sub>て<sub>レ</sub>お<sub>シ</sub>る<sub>ヲ</sub>也<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>也<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>也<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>也<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>也<sub>レ</sub>  
 其<sub>レ</sub>也<sub>レ</sub>往<sub>テ</sub>も<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>益<sub>ノ</sub>のある<sub>ヲ</sub>を<sub>レ</sub>伴<sub>テ</sub>の持<sub>ツ</sub>て<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>入<sub>ル</sub>事<sub>ニ</sub>も<sub>テ</sub>  
 も<sub>テ</sub>帰<sub>リ</sub>後<sub>ニ</sub>再<sub>ニ</sub>治<sub>ス</sub>る<sub>ル</sub>道<sub>ヲ</sub>遠<sub>ク</sub>も<sub>テ</sub>近<sub>ク</sub>も<sub>テ</sub>親<sub>ク</sub>と<sub>ス</sub>る<sub>ル</sub>文<sub>ニ</sub>も<sub>テ</sub>後<sub>ニ</sub>り

相志ろけ。戸田通光と云ふみまゝ人。近江今津法慶寺觀津。越前  
 系生淨勝と丹山と云ふの法兄達。又江戸一園本總及脚と云ふゆゑ  
 文人のやゝなれば傳ふる保考ぬし等あり。おろ云々ぬれゆゑ  
 くら。或は考証の是をぬ。又た所と先とてよき者て宜れあ。すへて  
 ふうらぬぬ。紙と云ふへぬ。く改めと。標とす。あやう。保考遣せられ  
 くら。どり。と云ふ。い。先と云ふ。な。れ。八。は。は。ひ。て。剛。り。也。補。ひ  
 といへ。優。く。の。あ。る。は。天。保。六。年。の。月。廿。二。日。上。此。件。り。の  
 た。へ。つ。る。と。人。と。又。彼。轉。用。例。者。の。の。き。紙。た。は。り。と。又。一。雲。の  
 海。を。承。つ。執。する。筆。を。白。雪。様。み。園。と。云。え。若。狹。妙。玄。義。門。

國史經籍唐本法帖  
 交易賣買所

西京寺町通四條北入

大文字町

聖華房 山田茂助

